



第34回総会資料

千葉の会の23年度の活動実績と 今後の課題

会場：船橋市勤労市民センター

2024年5月12日(日)

千葉骨髓バンク推進連絡会

会長 梅田 正造



千葉骨髓バンク推進連絡会の紹介①

私たち「**千葉骨髓バンク推進連絡会**」は、白血病をはじめとする血液疾患の患者さんを救うため、**ドナー登録の推進**や**日本骨髓バンク**を支援する活動をしているボランティア団体です。また、**造血幹細胞移植医療体制の充実**を訴え、県民の皆さまに骨髓バンクについて**正しく理解**して頂くための**普及活動**も行っています。

当会は、**91年2月**に結成され、現在に至っています。会員は患者関係者、医療関係者、一般ボランティアで構成されています。そして一人でも多くの患者さんとその家族が**笑顔を取り戻す日**が来るように、医療講演会・相談会及び「**コンサートと落語会**」の開催、イベント等での宣伝活動、ドナー環境向上のために**ドナー助成制度**及び**ドナー休暇制度**の関係機関への導入要請、千葉県のドナー登録者**2万3千人**を目標に**献血併行登録会**の開催、パンフレット・会報の発行による**社会啓蒙活動**、**ケア帽子**の病院への寄贈、「**いのちの輝き展**」開催などを行っています。

また、千葉県の公的機関である**千葉県造血幹細胞推進協議会**にボランティア団体の代表として会長が参加しています。



千葉骨髓バンク推進連絡会の紹介②

活動内容

- 定例会
毎月第1日曜日に船橋市市民活動サポートセンター(船橋駅前フェイス5階)にて定例会を開催しています(総会は5月)
- ドナー登録会
日本赤十字社献血会場での併行登録会に協力(県市町村役場、大学、ショッピングセンター、企業、幕張メッセ、健康祭り、イベントなど)
- 普及啓発活動
 - ①ドナー登録会での普及啓発
 - ②チャリティコンサートと落語会の開催
 - ③会報の作成と各団体、医療機関等への配布
 - ④「あやちゃんの贈り物展」、「MAMOのメッセージ展」、「いのちの輝き展」等の開催
 - ⑤アクアラインマラソン、県内各地の健康祭り、イベント、企業祭り等でのPR活動
 - ⑥街頭キャンペーン
10月強化月間、各種記念キャンペーン、キャラバン
 - ⑦ポスターの掲示、チラシ・ティッシュの配布、募金箱の設置、報道機関へのイベント掲載依頼
- 各種団体への支援要請
 - ①県、市町村、千葉県赤十字血液センターへのドナー登録促進要請
 - ②ロータリークラブ、ライオンズクラブ、青年会議所等への支援要請
- ドナー支援
骨髓移植ドナー支援事業、ドナー助成金制度・ドナー休暇制度導入を県市町村、事業者団体等に働きかけ
- 患者支援
 - ①白血病フリーダイヤルへの相談員派遣
 - ②患者家族向け小冊子の配布
 - ③全国骨髓バンク推進連絡協議会に設置されている患者支援基金の紹介
 - ④患者さん用ケア帽の作製と病院への寄贈



始めてみませんか

ボランティアとしてどなたにでも出来る事がいろいろあります。
“骨髓バンク=登録”だけが全てではありません。さあ、あなたも出来る事から始めてみませんか。

会員になる

年会費：3,000円(学生1,000円)

定例会は、毎月1回開催

会員の方には、活動報告やイベントのご案内を掲載した会報を随時郵送致します。

現在、会員数約40名

参加する・PRする

何かやってみたくなったらお気軽に声を掛けて下さい。例えば、イベントでのティッシュ配りなど少しでもお手伝い頂ければ助かる事が色々あります。

参加することで新たな交流も生まれます。

日常のPRの一環として、骨髓バンクのポスターやパンフレット、患者支援募金箱を、あなたの会社や学校、お店や事務所などに置いて下さいませんか。

募金する

ボランティア団体として地域に根ざした積極的な活動を進めるため、資金面での協力をお願いします。当会の運営は、会費と皆様からのご寄付によって支えられております。

【郵便振替】00160-6-547168

千葉骨髓バンク推進連絡会 へて

切手、はがき(書き損じ可)などによるご寄付もお受け致します。

相談する

(主催：認定NPO法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会)

患者さんや家族のための窓口です。

毎週土曜日10時～16時

白血病フリーダイヤル 0120-81-5929

(第2・第4週は血液内科専門医も相談に応じます)

千葉骨髓バンク推進連絡会

白血病などの血液疾患の患者さんを救うため、ドナー登録の推進やドナーの環境整備改善活動等を行い、素晴らしい骨髓バンクを築くための活動を行っているボランティア団体です。



全国キャラバンにて千葉県赤十字血液センター訪問(27年6月)

〒267-0054 千葉市緑区大高町18-37 北村方

TEL/FAX 043-497-5083

<http://www.marrow.or.jp/chiba/>

郵便振替口座 00160-6-547168

ゆうちょ銀行 店番019-0547168





千葉骨髓バンク推進連絡会の紹介③

愛と善意を結集した すばらしい骨髓バンクを 築くために

私たち「千葉骨髓バンク推進連絡会」は、白血病をはじめとする血液疾患の患者さんを救うため、ドナー登録の推進や、ドナーの環境整備改善活動等を行い、素晴らしい骨髓バンクを築くための活動を行っているボランティア団体です。

また、造血幹細胞移植医療体制の充実を訴え、県民の皆さまに骨髓バンクについて正しく理解して頂くための普及活動も行っています。

当会は平成3年2月に結成され、現在に至っています。会員は、患者関係者、医療関係者、一般ボランティアで構成されています。

一人でも多くの患者さんとその家族が笑顔を取り戻す日が来るように、千葉県のだナー登録者2万人を目標に活動しています。

普及啓発グッズ

キティのポケットティッシュ



骨髓バンク登録記念 3色ボールペン



スノーフンク（代々木公園）での登録会（11月）



野田夏祭り羅り七夕（8月）



イオン柏店幸せの黄色いレシートキャンペーン



成田市でのチャリティコンサートと落語会（11月）



ケア帽子の作成と寄贈



箱根駅伝（1月）



船橋フェイスでの定例会（第1日曜日）



全国キャラバン（習志野市役所）（6月）



船橋マセフリーマーケットでの登録会（5月）



アクアラインマラソン（10月）



船橋総合病院での啓発活動（10月）



「友朋秋祭のバラード」での啓発活動

ドナー登録受付は、千葉県内の下記献血ルーム及び献血会場でできます

献血ルーム	電話番号	住 所	定休日
モノレールちば駅献血ルーム	043-224-0332	千葉市中央区新千葉1-1-1 千葉都市モノレール千葉駅構内	年末年始
運転免許センター献血ルーム	043-276-3641	千葉市美浜区浜田2-1 千葉運転免許センター内	※1
津田沼献血ルーム	047-493-0322	船橋市前原西2-19-1 津田沼バルコB館6階	年末年始※2
献血ルームフェイス	047-460-0521	船橋市本町1-3-1 Faceビル7	年末年始
松戸献血ルームPure	047-703-1006	松戸市松戸1307-1 松戸ビル1階	年末年始
柏献血ルーム	04-7167-8050	柏市柏2-2-3 榎本ビル5階（1階みずほ銀行）	年末年始

※1 毎週土曜日、祝日、12月29日～1月3日 ※2 商業施設の休館日

骨髓バンク登録についてのお問い合わせは（公財）日本骨髓バンクへどうぞ 03-5280-1789



千葉骨髓バンク推進連絡会の活動

1. 骨髓ドナー登録推進

- ①献血併行型登録会開催(説明員派遣)
- ②ドナー登録説明員の養成(研修会開催)

2. 普及啓発活動

- ①「コンサートと落語会」の開催
- ②「ちばアクアラインマラソン」での活動

3. 患者・家族の支援活動

- ①ケア帽子の作成、寄贈
- ②医療講演会、患者相談会開催
- ③フリーダイヤルに相談員派遣

4. ドナー支援活動

- ①ドナー休暇制度の促進活動
- ②ドナー助成制度の促進活動

5. 広報

- ①「いのちの輝き展」開催
- ②会報の発行

6. 講演、勉強会

- ①団体、学校等での講演
- ②ブロックセミナー参加



特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会

特定非営利活動法人・**全国骨髄バンク推進連絡協議会** (略称: 全国協議会) には、日本全国で骨髄バンク推進のために草の根運動を展開している**ボランティア団体**が**会員として加盟**しています。

その加盟団体は主に都道府県単位で一つの団体を構成しています。**2024年4月現在**の加盟団体数は**32団体**、協力団体は**36団体**です。

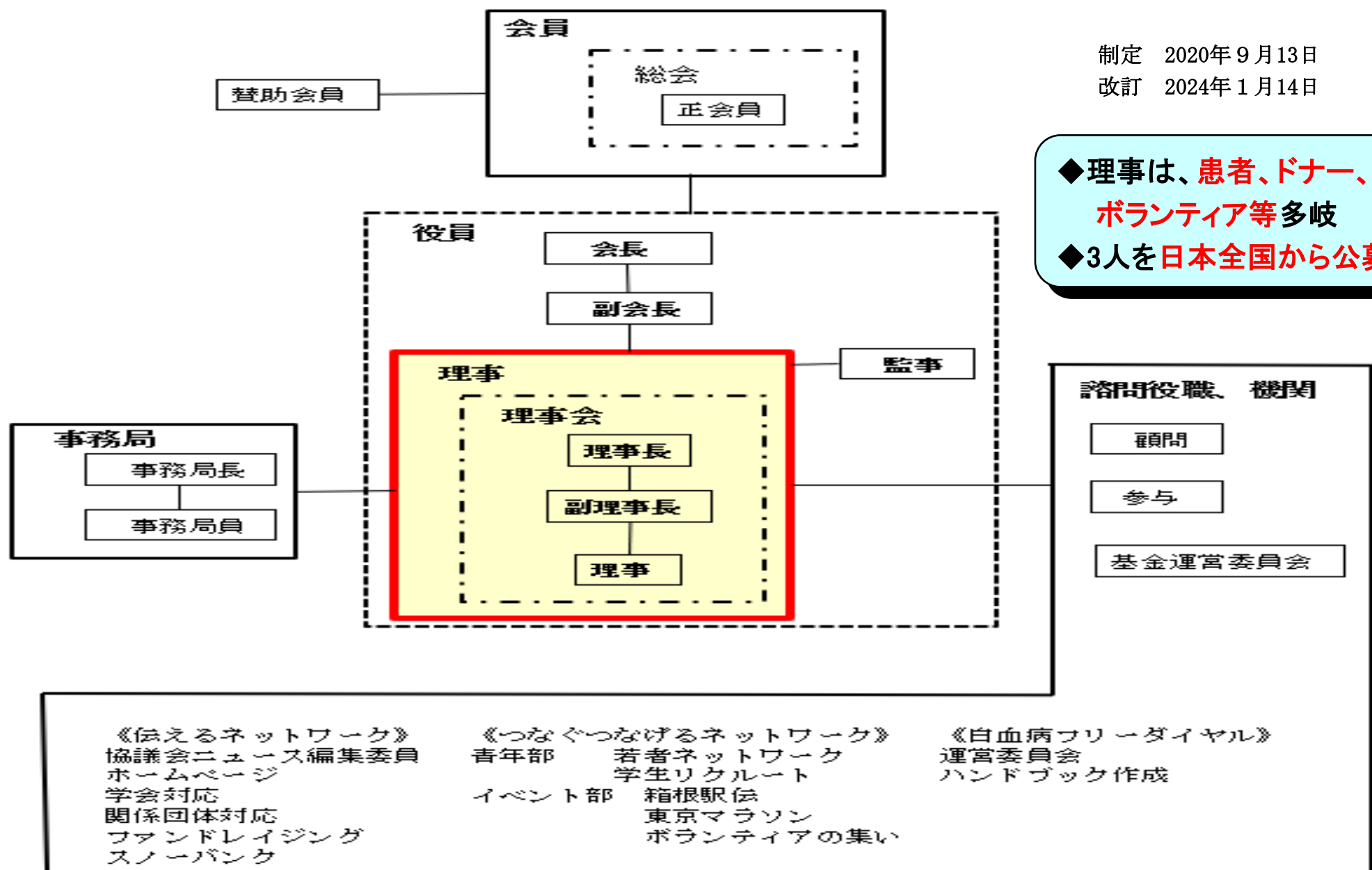


梅田正造 理事長
(23年7月就任)
千葉の会会長

千葉骨髄バンク推進連絡会（千葉の会）は、**全国骨髄バンク推進連絡協議会**の会員です。
千葉の会の会長 梅田正造は、**全国協議会の理事長**を務めています。



全国協議会の組織図





全国協議会の役員、顧問、参与

2023年7月～2025年6月

会長代行：渋谷俊徳

副会長：大谷貴子、田中重勝

理事長：梅田正造

副理事長：村上忠雄、若木換、山村詔一郎、浅野祐子、

理事：齊藤千秋、佐藤民雄、館野守男、鈴木敏生、
山口明大、中村福代、北折健次郎、川下勉、
山崎裕一

監事：黒部光司、笠原慶一

顧問：岩城光英、岡村正、鎌田薫、谷口修一、
東井朝仁、野村正満、陽田秀夫

参与：畠山茂房、菅早苗、野平晋作



全国協議会と骨髓バンクの歩み

- ◆1987年12月 骨髓バンク設立を求める運動を開始
- ◆1989年9月 **民間の東海骨髓バンク設立**と骨髓移植実施
- ◆1990年6月 13団体加盟で全国協議会発足
- ◆1991年12月 **公的骨髓バンク設立** (骨髓移植推進財団、現日本骨髓バンク)
- ◆1993年1月 公的骨髓バンクによる第1例目の骨髓移植実施
- ◆1995年9月 **佐藤さち子患者支援基金を創設**
- ◆1996年7月 白血病フリーダイヤルで患者電話相談を開始
- ◆2010年4月 全国協議会、認定NPO法人資格取得
- ◆2013年1月 **志村大輔基金を創設**
- ◆2013年11月 **こうのとりのマリーナ基金を創設**
- ◆2019年2月 ドナー登録者 50万人達成
- ◆2020年6月 **全国協議会設立30年**
- ◆2020年12月 骨髓移植 25,000例達成
- ◆2021年3月 さい帯血移植20,000例達成
- ◆**2023年2月 骨髓移植、さい帯血移植50,000例達成**



全国協議会の7地区ブロック





全国協議会の活動内容

1. 骨髓ドナー登録推進支援活動と普及啓発活動

2. 患者・家族の支援活動

- ①病気情報ハンドブックの発行・配布
- ②白血病フリーダイヤルの設置・運営
- ③患者支援基金による経済的助成活動
(今回のクラウドファンディングに関係)

3. ドナー支援活動

- ①パンフレットの配布
- ②ドナーサポートダイヤルの設置・運営
- ③ドナー休暇制度、ドナー助成制度の促進活動

4. 骨髓バンク及び医療充実の要望活動



患者支援基金による経済的助成活動①

- ◆当協議会は**血液難病の患者さん**を経済的に支援する**3つの基金**を運営しています。
- ◆**2023年度**は延べ**134人**の方に、**総額9,963千円**の助成を行いました。

佐藤きち子記念造血細胞 移植患者支援基金

♥骨髄移植にどのくらい費用がかかるか不安でしたが基金のおかげで**費用の面で安心**して移植を受ける決心ができました。
(患者さんの夫)

志村大輔基金 (分子標的薬・精子保存支援)

♥思春期の息子に**精子保存**の話をするのはとても勇気のいることでした。でも、しなくてはならないと思い、話し合いました。息子は「将来後悔したくない」この言葉で前に進むことができました。必ず回復すると思っています。前へ前へ気持ちも明るく進んでいきます。
(患者さんの母)

こうのとりのマリー基金 (未受精卵子保存支援)

♥子どもの病気で必要な**卵子採取**に対し保険が適用されないのは残念でしたが、このような助成がある事を聞き、本当に助かりました。多くの方がこの助成の事を知り、困っている方が少しでもお金の面で助かります様に…
(患者さんの母)



患者支援基金による経済的助成活動②

佐藤きち子記念造血細胞 移植患者支援基金



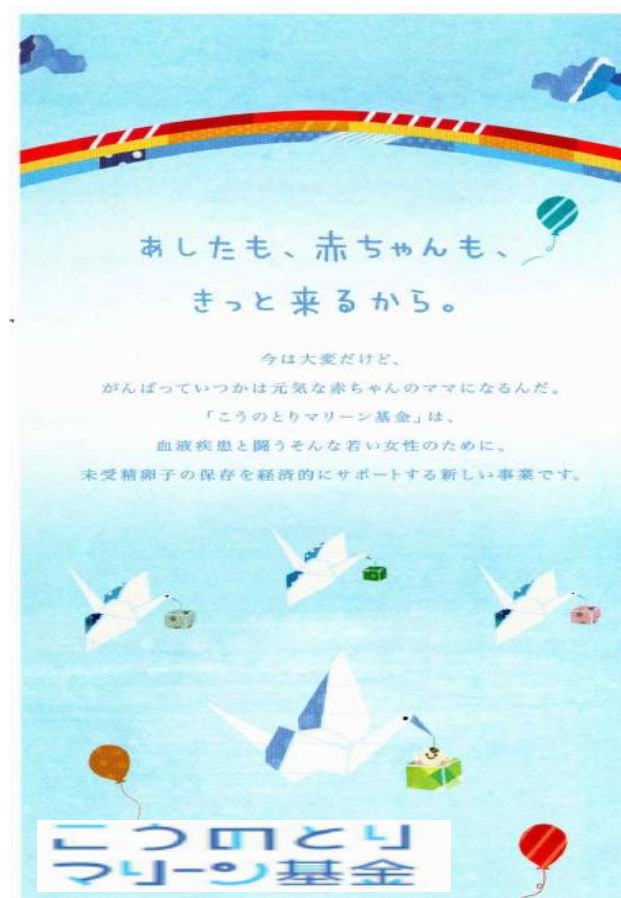
1995年9月～2024年3月
累計助成362件、96,323千円

志村大輔基金 (分子標的薬・精子保存支援)



2013年1月～2024年3月
累計助成825件、40,682千円

こうのとりのマリーナ基金 (未受精卵子保存支援)



2013年11月～2024年3月
累計助成40件、6,941千円



病気情報ハンドブックの発行・配布

◆病初期の患者さんとご家族向けの**ハンドブック「白血病と言われたら」**の改訂第6版を**2020年に発行**しました。上巻と下巻の構成になっています。

ホームページ(<https://www.marow.or.jp/>)から**ダウンロード**できます。

1999年8月初版発行、2023年3月までの累計発行数56,000セット、総ダウンロード数5,195件



上巻「白血病と闘おう」

これから白血病と闘うために必要な情報を多岐にわたり掲載

A4サイズ 188ページ フルカラー

下巻「血液の病気を知ろう」

血液の病気についてさらに詳細な解説や治療法について掲載

A4サイズ 264ページ フルカラー

ダウンロードの方法は2つあります。
選択してクリックしてください



白血病フリーダイヤルの設置・運営

◆血液疾患患者さんとそのご家族のために、患者電話相談窓口「**白血病フリーダイヤル 0120-81-5929**」を**1996年7月**から開設しています。2024年3月までの受付相談累計 9,183件

白血病フリーダイヤル

やまい こくふく

0120-81-5929

毎週土曜日
午前10時～午後4時

※毎月第2・第4土曜日は
血液専門医も
ご相談をうかがいます。

♥「白血病フリーダイヤル」のおかげで**今の僕**があります。(患者)

♥ 私が患者だった時、なぜここに行きつかなかったのだろうと今更ながらに思います。誰かに聞くのも恐ろしくて、ネットばかり眠れぬ夜にひとり検索していました…。病院で「こういうのがあるよ」と看護師さんや先生に一言教えてもらえたら良かったな、と思います。**生の声ほど心強い**ものはありません。ひとりでも多くの患者さんに伝わるといいなと思います。(患者)



ドナーさんへのサポート

◆ドナーサポートダイヤルの設置・運営

骨髓バンクのドナー(希望者・登録者・候補者・経験者)が抱える様々な疑問について、事務局でお受けしいてます。

0120-892-106

相談の受付日時: 月～金曜日 10:00～17:00 (祝日等を除く)

◆パンフレット配布

「ドナーになるってどんなこと？」
(本人 編)(家族&職場 編)
を作成しました。





広報誌「協議会ニュース」の発行

- ◆最新情報「協議会ニュース」(4ページ構成)を毎月発行しています。
- ◆配布部数は、月通常3,600部です。

【1】第325号(1月10日発行) 定価 1,000円

平成6年4月17日第三種郵便物認可

全国協議会 ニュース

2023年11月1日発行 第375号

発行所 特定非営利活動法人
全国骨髓バンク推進連絡協議会
〒101-0031 東京都千代田区東神田1-3-45Tビル3階
TEL 03-5823-6360 FAX 03-5823-6365
発行責任者 梅田正造 編集 梅田新枝(代表)
http://www.nacw.or.jp E-Mail:info@nacw.or.jp

骨髄・さい帯血バンク議員連盟 笹川博義新会長にインタビュー

9月20日(水)、衆議院議員会館に、5月31日に就任した議員連盟新会長笹川博義氏に全国協議会の梅田正造理事長が挨拶に伺い、骨髄バンクとボランティア活動の現状と課題を説明しました。笹川会長は、じっくりとお聞きくださいました。その要旨をインタビュー記事としてお届けします。



新会長 笹川 博義
1966年5月生まれ
衆議院議員(4期)
自由民主党衆議院議員 衆議院議員連盟幹事長
衆議院議員連盟幹事長 衆議院議員連盟幹事長
(インタビュー日時)
会場：国会議員会館、ガーデニング、図書

血でできなかった、身近な事を支える為にも健康であることは大事である。一日千秋の思いで適合ドナーを待っている人がある。その思いに答えなければならない。そのためには客観的データが必要。

梅田理事長の説明

①若年層のドナー登録拡大が喫緊の課題。オンライン登録とスワブ検査の試験的導入は、本年度概算要求で計上されたが、引き続き後押しをお願いしたい。②骨髄バンクを介した移植希望する患者のうち約6割が移植を受けられていない。改善のためにはコーディネーターの増強が急務。③中小企業や自営業者はドナー休暇制度がないため、適合しても骨髄提供が難しい場合がある。そのため、ドナー助成制度が地方自治体で導入されており、ドナー及び企業を支援している。国も本年度概算要求で計上した。今後、実現するよう引き続き後押しをお願いしたい。

笹川会長のお話

客観的なデータ収集、情報共有が必要

「ドナー登録をした人が、そのことを認識し続けることが大切。自分もアイバンクに登録して。臓器移植は免許証の裏面に意思表示できる。こうしたことも一つの考えだと思ふ。献血とドナー登録活動は連動していると認識している。先日、商工会議所の蔵書活動で30%の人間が健康上の理由で利用

供を受けて復讐して活躍している方に尚一層協力をお願いする。公益団体における継続的申請制度のような表彰が受けられるなどの仕組みがあれば効果的。舞台装置をつくるのが重要」

ボランティア活動は自主性が大切

「皆さんボランティア団体の皆さんが、普及啓発やドナー登録募集活動などを熱心に行っていることは十分理解している。またボランティア活動にそれなりの資金が必要なものもある。例えば、こうした活動に補助金を付けることも出来ると思うが、そうなると思える行政の下請け団体となってしまう。自由な発想や自主性がなくなり、結局は活力を失ってしまうケースもよく耳にする。よくよく考える必要がある」

患者・ドナーの声が大切

「健康なときは誰にも気づかない。自分が病気になるか、愛する家族が病気になるのはじめてこの重大性に気づく。患者・家族、ドナーなどの皆さんの声をまとめてほしい。議決して一つ一つと改善を求めていきたい。やることはたくさんある。今後も定期的に情報交換を行いたい」

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

骨髄バンク NOW				
ONLINE登録者数(2023年9月末時点)				
登録者数	男性	女性	合計	前月比
777	2,225	548,691	550,916	2,933
待機中登録者数	177	201	1,834	67,444
待機中登録者数	150	193	1,693	28,990
待機中登録者数	25	19	1,565	—
待機中登録者数	76	98	27,950	—

9月の区分別ドナー登録者数

区分	登録者数
9月1日～9月10日	1,923人
9月11日～9月20日	1,923人
9月21日～9月30日	1,923人
9月1日～9月30日	5,769人

【2】第325号

全国協議会 ニュース

2023グリーンリボンランニングフェスティバルに参加

10月9日(月)に駒沢陸上競技場(東京都世田谷区)でグリーンリボンランニングフェスティバル(NPO日本移植者協議会等主催)が開催されました。移植医療への理解を深めるためのイベントです。参加された方から感想をいただきました。



「絆に思いを込めて」

皆様はじめまして。神奈川の会ドナー登録説明員1年生の高崎尚子と申します。【グリーンリボン ランニングフェスティバル】に、応援チームのボランティアとして参加させて頂きました。当日は朝からあいにくの雨で、秋とは思えないような肌寒い天気の中で、開催となりました。

ボランティアの仕事として、競技に参加された方たちに向けて啓発グッズの配布を行いました。可愛いキティちゃんのティッシュは大変好評でした。多くの人に、グッズをきっかけとして骨髄バンクの事を知ってもらえたら良いな、と思います。

地方の高齢患者さんの福音に クリーンルームのあるクリニック開院



これまで研鑽を積んで参りました血液内科を新たに加えて、建物、クリニック名を刷新し、2023年8月末に新たな形で開院いたしました。

入院病床は19床あり、その内11床はクリーンルームを完備いたしております。また、通院での化学療法が可能となるよう、10床の外化学療法室も備え、がん化学療法看護、常勤薬剤師や、院内検査室など、血液診療をしっかり行うことが可能な施設となっております。このような施設でありますので、開院当初より、クリニックとしては珍しく、日本血液学会専門研修施設にも認定いただきました。

8月28日(月)に開院された「清風会クリニック」をご紹介します。目を引くのはクリーンルームの窓の大きさです。そこからは花や樹木が見え、窓の外の見える空がありました。又、階段の段差の色はスタッフさん共々元気が出るように…と院長先生のこだわりがあるように感じました。11月19日(日)に開催する骨髄バンクの記念事業での医療相談会では相談医としてお世話になります。

私自身は、長年、都市部での血液診療を行って参りましたが、地方にお住いの患者様が、通院されるご苦労を目の当たりにして参りました。郡城市は、近隣の都市部である宮崎市や鹿児島市まで、公共交通機関では1時間以上要する場所にあり、ちやうど両都市の間に位置しており、当院が郡城市とその周辺の地域にお住いの患者様、特に高齢患者様の福音となると幸いです。

（みやぎ骨髄バンク推進連絡協議会 中村様代）

当院は、宮崎県郡城市にあるクリニックです。もともとは泌尿器科、透析医療を行っていた有床診療所でしたが、医療法人の事業承継に伴い、私が

イトー」と声援を送ります。骨髄バンクの標をかけた選手には、一段と声を大きく「骨髄バンク。がんばれー」と思いを込めて声援を送りました。ゴールの時は、多くのチームの走り終えた選手がゴール前の100m程をアンカーの選手と一緒に走り、喜びを分かち合っていました。みんな、笑顔が溢れていて、感動的な瞬間でした。骨髄バンクチーム、完走おめでとうございます。万歳！ 走ることに挑戦する事、思いを込めた標を繋ぐ事、骨髄バンクの日立つ貴い標をきっかけにして皆さんに骨髄バンクを応援してもらう事等々、沢山の様々な思いを持って参加された選手の方々に心から貴い意をお伝えしたいです。リレーの標のように、骨髄バンクが多の方に繋がり発展していくことを願っています。

(神奈川骨髄移植を志す会 高崎尚子)

間は、時として順調な時間でもあるかと思われ。我々のクリニックでは、少しでも患者様が快適に過ごせるよう、病棟をはじめとした施設内は温かい空気の流れづくりを心掛けました。クリニック二階には、屋外庭園を備えたテラスを造り、長期入院となれる患者様の一助となれるよう試みもしております。

当院は、透析患者様も多くおられますので、透析患者様の血液疾患の治療など、エビデンスも少ない特殊な分野の診療ではござりますが、試行錯誤しながら、当院から何らかのエビデンスを発信できるよう努力いたして参りたいところです。

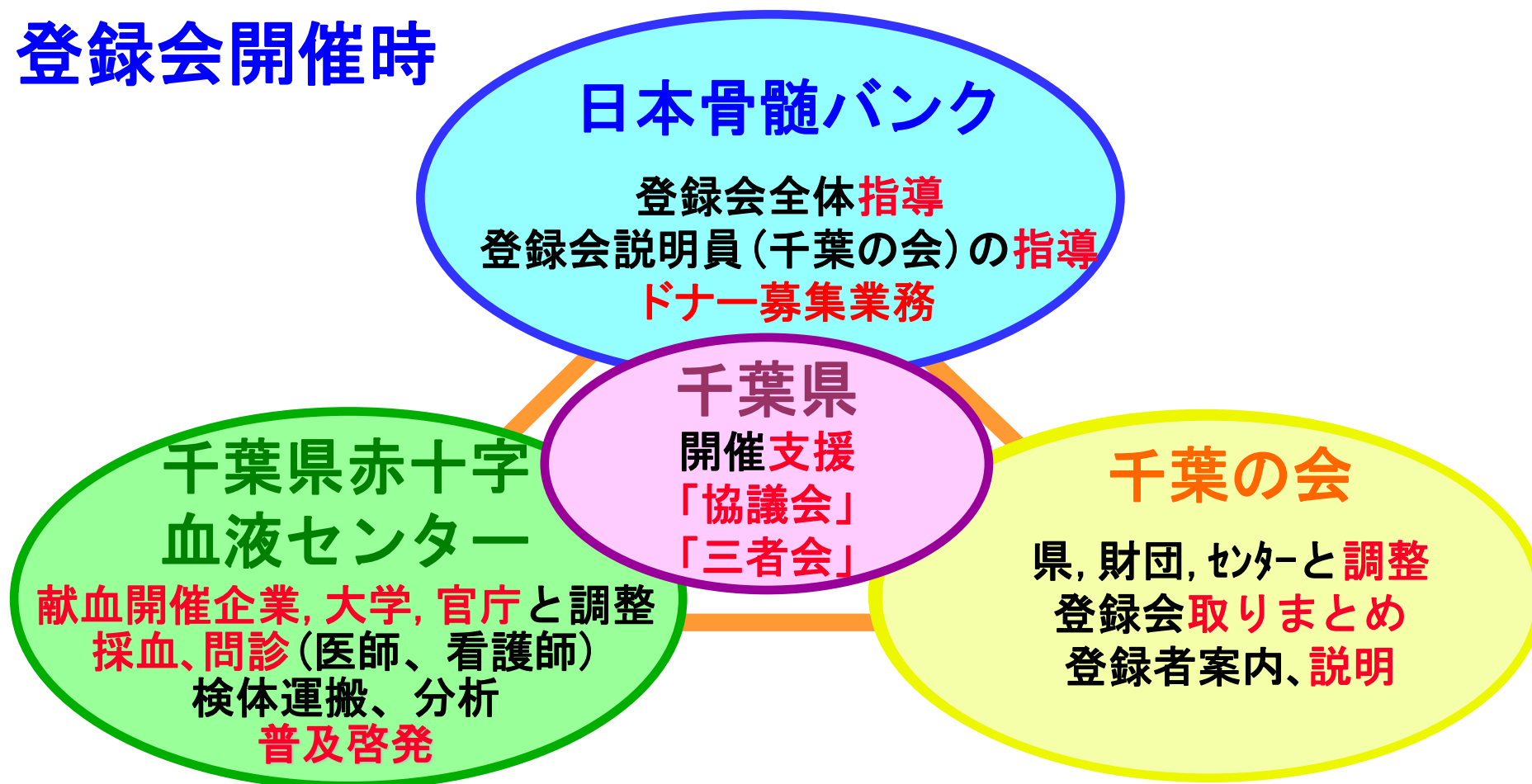
医療の均てん化が叫ばれる近年、クリニックを備えた入院施設や外化学療法室をはじめとした、本格的な血液診療を施行を行う当院の試みは、地域医療としての血液診療の新たな提言となろうかと思っております。

(医療法人社団清風会 清風会クリニック 中野伸亮)



日本骨髓バンク、血液センター、県、千葉の会の関係

登録会開催時



「協議会」：千葉県造血幹細胞移植推進協議会 1回／年

「三者会」：千葉県（薬務課）、千葉県赤十字血液センター、千葉骨髓バンク推進連絡会（千葉の会）の実務打合せ会議 1～2回／年



23年度の活動実績総括

23年度は、コロナは2類から5類になり、骨髓バンク活動もやっと以前の状況に戻りつつある年でした。しかし年度開始早々自治会の役員に選任され、7月からは千葉の会も会員の全国骨髓バンク推進連絡協議会の理事長（前6年間、副理事長）にも就任したため、大変多忙な一年でした。この渦中で協議会の仲田順和会長（醍醐寺座主）が11月にご逝去されました。

溝口理文（よしぶみ）副会長が文化の日に千葉県功労者彰を受賞しました。（会長梅田）

◆23年度の千葉の会の主要行事

- ① 骨髓バンクチャリティ「コンサートと落語会」開催(23.11.18)
- ② 全国協議会の「東京マラソン2024」のチャリティランナー支援活動(24.3.3)
- ③ 幕張メッセでの「フリーマーケット」(23.5.3～5)、「東京オートサロン」(24.1.13、14)での普及啓発と献血併行登録会
- ④ 「いのちの輝き展」を県内10カ所で開催
- ⑤ 三者会(24.2.7)

◆千葉県主催の「ドナー登録説明員養成講座」の2回目が、12月6日に教育会館で開催され、8名が受講。この内5名が説明員資格手続きを行い、今後の活動参加が期待される。

◆ドナー助成制度は、54市町村すべてが導入済となり、導入率100%となった。

◆ドナー休暇制度導入活動は、首長、県市町議会議員に改めて支援を要請した。

◆11月11日(土)、12日(日)、代々木公園での東京雪祭会場で登録会を関東4団体と共催。登録者121名、献血者402名だった。

◆ケア帽子は、日赤奉仕団の方々の支援を受け順調に作成し、12病院に620個寄贈。

◆献血併行型登録会は、19年度369回が、20年度はコロナで161回と激減。21年度224回と戻っていない。22年度は336回、23年度は397回で19年度を超えた。



骨髄バンク／日本の現状

◆日本では毎年新たに**約 1 万人**の方が、**白血病**などの**血液疾患**を発症しています。

◆そのうち**日本骨髄バンク**を介する**移植**を必要とする患者さんは、毎年**約 2, 0 0 0 人以上**です。

◆日本のドナー（骨髄提供者）の登録者は
24年3月末で 554, 123名（千葉県20, 870名）

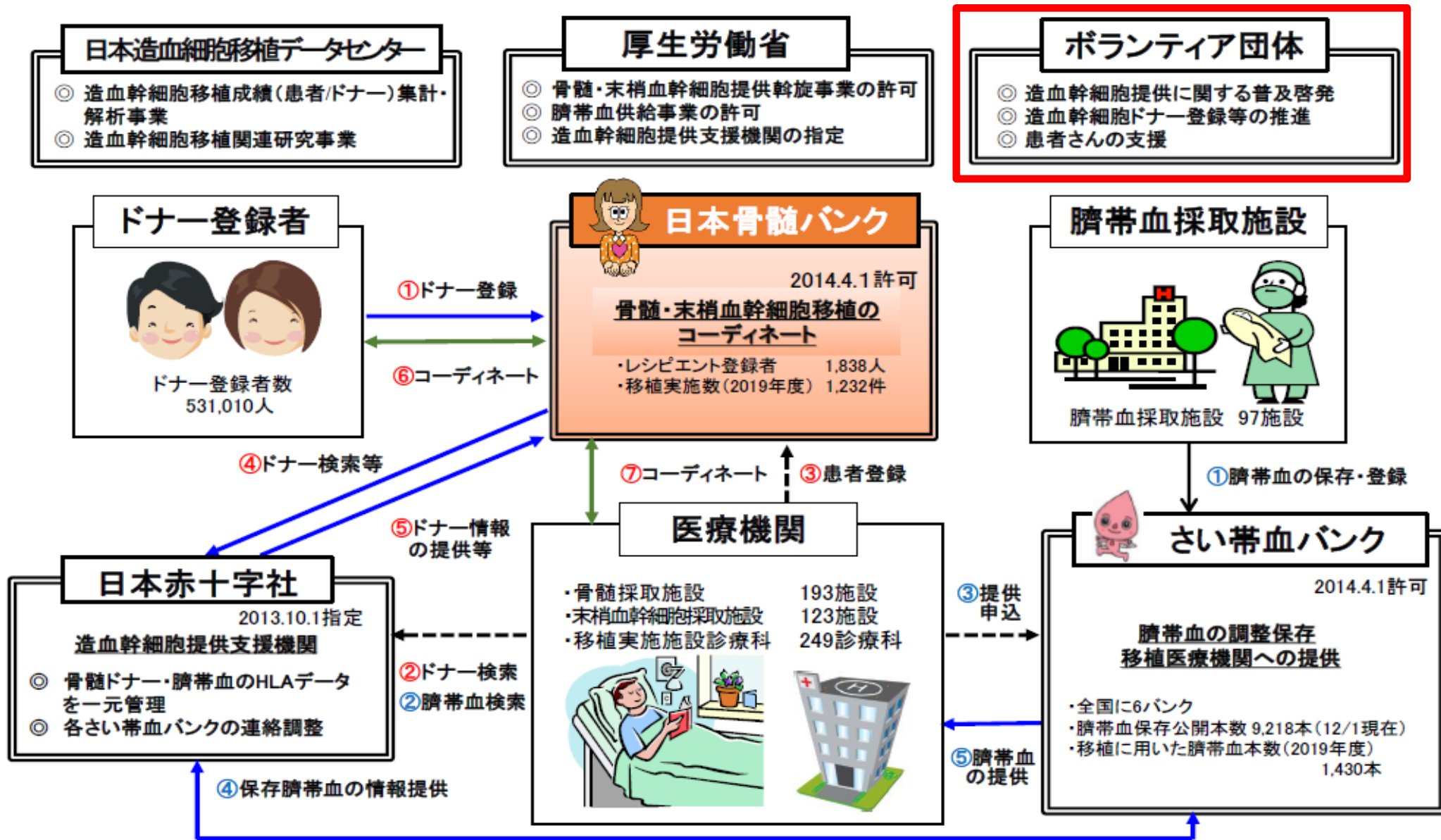
◆骨髄バンクに登録している患者さん（国内）の**約 6 0 %弱**しか移植を受けられていません。
全ての患者さんが移植を受けられるように、
一人でも多くの方の**ドナー登録が必要**です。



造血幹細胞移植の実施体制①

日本骨髓バンクと全国骨髓バンク推進連絡協議会

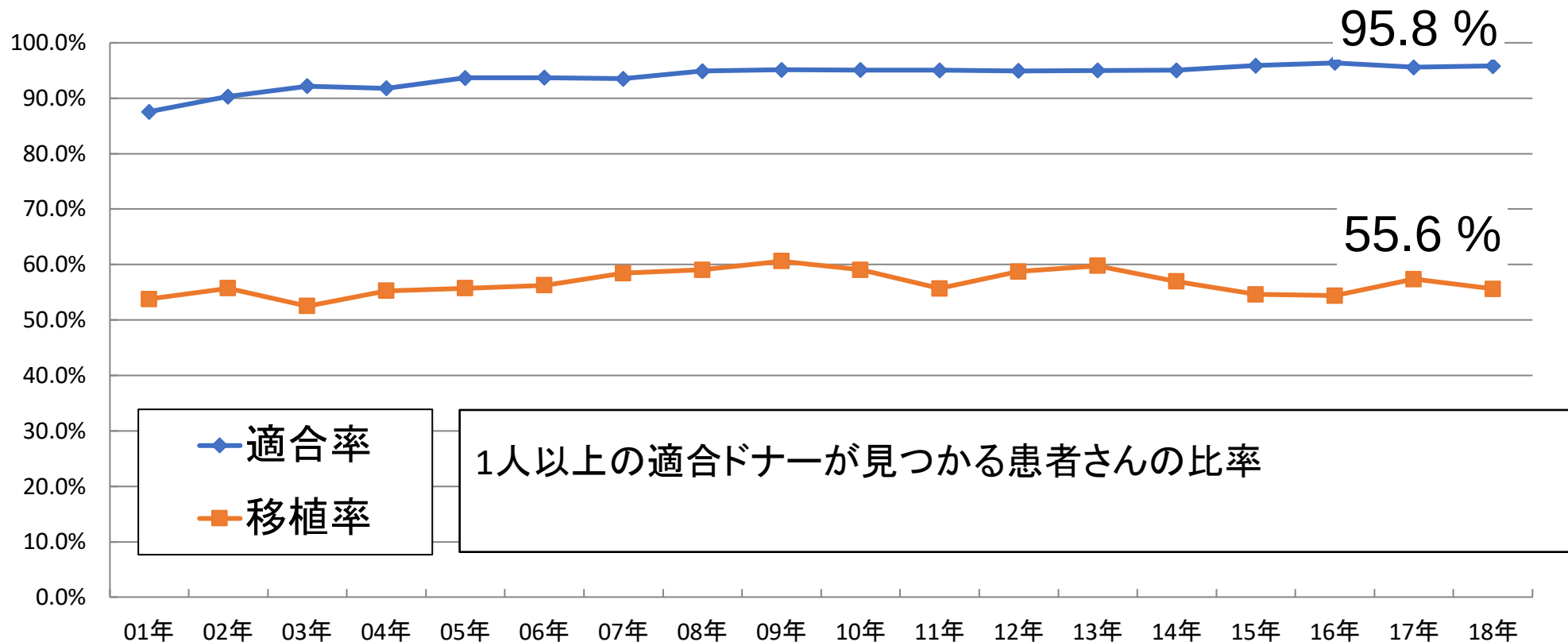
21年2月2日 (日本骨髓バンク) 地区普及広報委員・説明員研修会資料





国内患者のHLA（白血球の型）適合率と移植率

日本赤十字社、日本骨髄バンク調べ

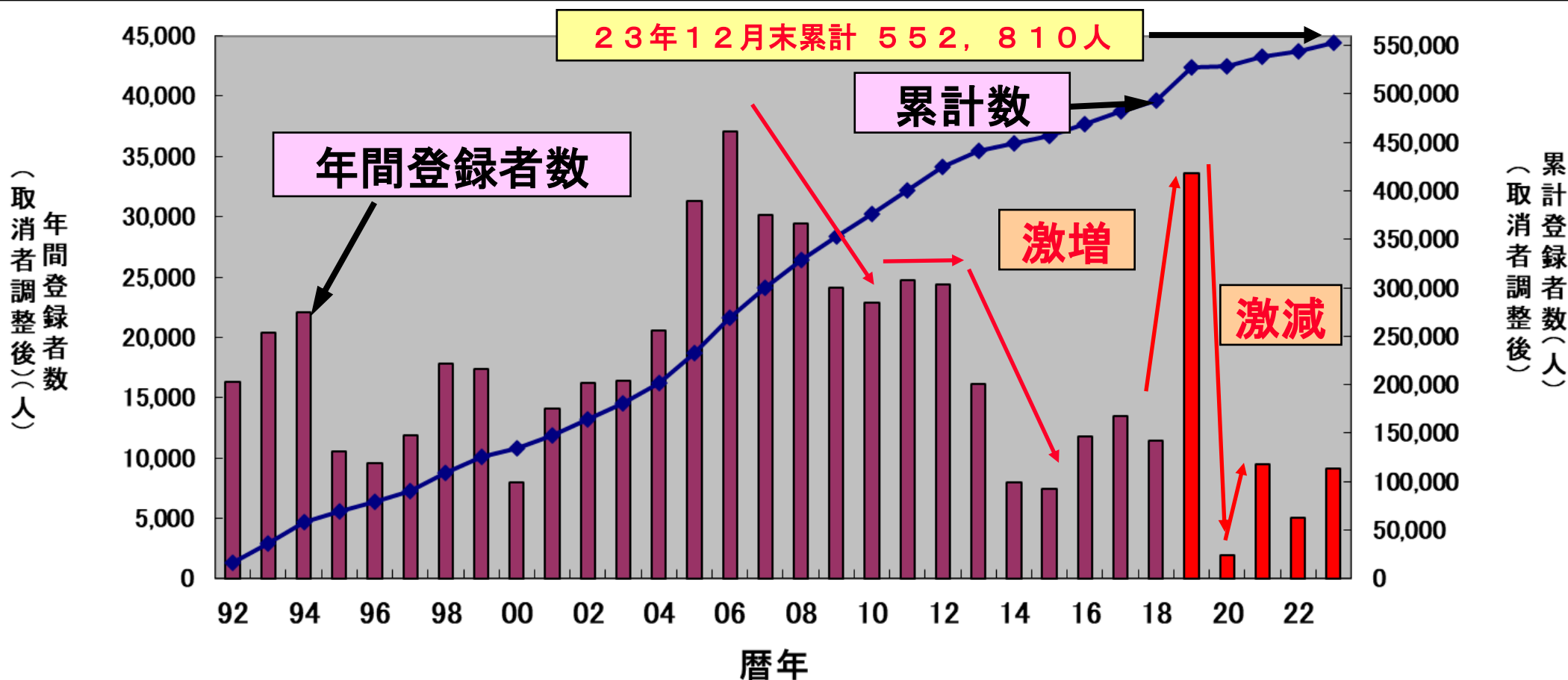


※移植率は、年間の新規患者登録数に対する移植数（国内ドナー＋海外ドナー）の割合

◆日本骨髄バンクを介して移植を希望した患者さんの約60%弱しか移植を受けられていません。



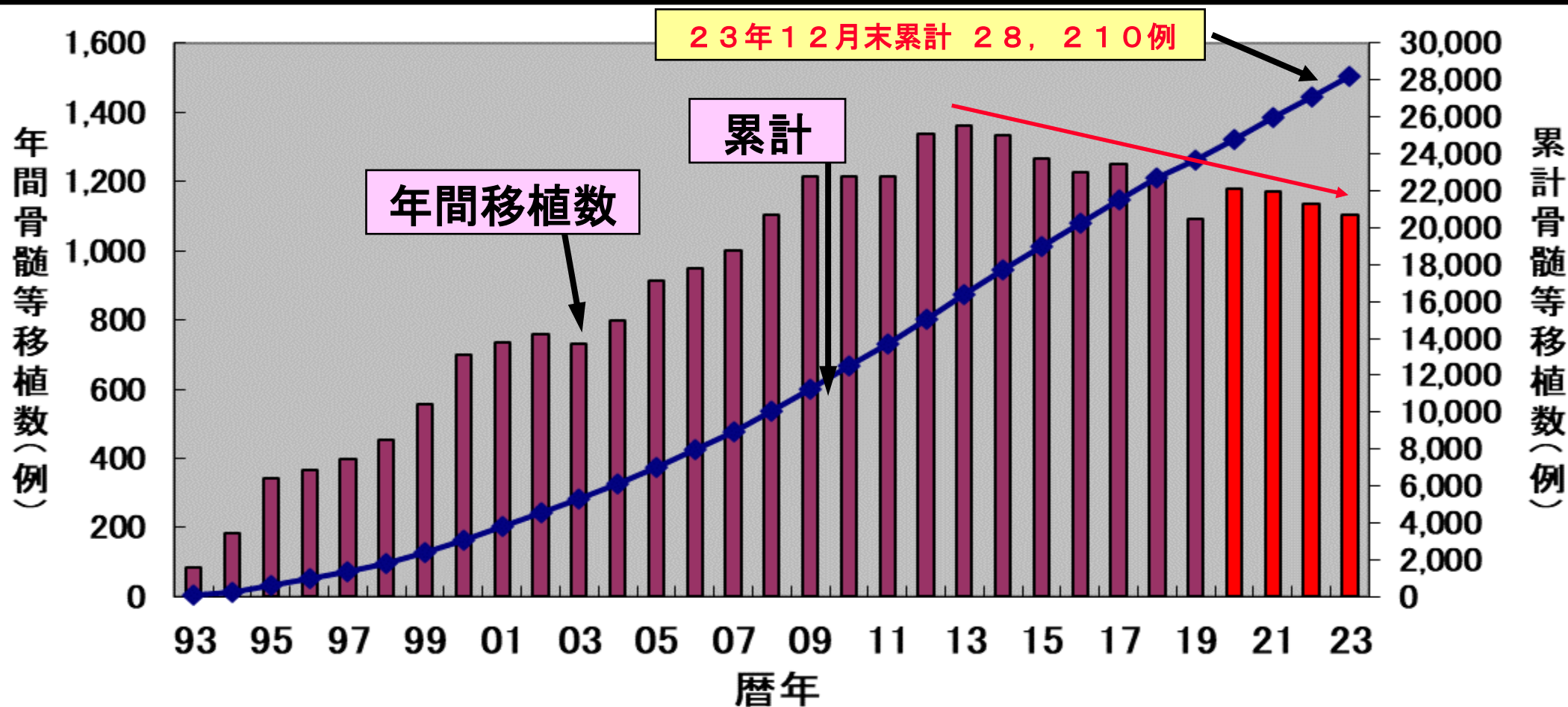
全国のドナー登録者数実績



- ◆06年以降、広告機構広報が無くなった影響等で15年まで減った。
- ◆19年は池江璃花子さん効果で激増。20年はコロナ禍で激減。
- ◆20年～23年はまだ戻らない。23年12月末、累計552,810人。



全国の骨髄・末梢血幹細胞移植実績



◆年間移植数(採取実施数)(暦年)は、13年に**過去最高**(1,360例)を更新。その後、**さい帯血移植**の増加等の影響もあり**減少傾向**。19年は**減少大**。23年12月末、**累計28,210例**。



造血幹細胞移植実績の推移（非血縁者間）

21年3月3日 第58回（厚生労働省）造血幹細胞移植委員会資料

※骨髄移植等とは、骨髄移植と末梢血幹細胞移植をいう。

※末梢血幹細胞移植は平成22年10月より導入されており、令和2年3月末現在、925例が実施されている。

※移植件数は各年度末現在の数値。

(単位：件)

3,000

- 造血幹細胞移植術（3種）の合計件数は、近年ほぼ横ばい
- 平成27年度以降の移植件数は、「臍帯血移植」が「骨髄・末梢血幹細胞移植」を上回る傾向

2,500

2,000

1,500

1,000

500

0

■ 骨髄移植等 ※
■ 臍帯血移植
▲ 総計

造血幹細胞
移植法施行

H3 H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 (年度)



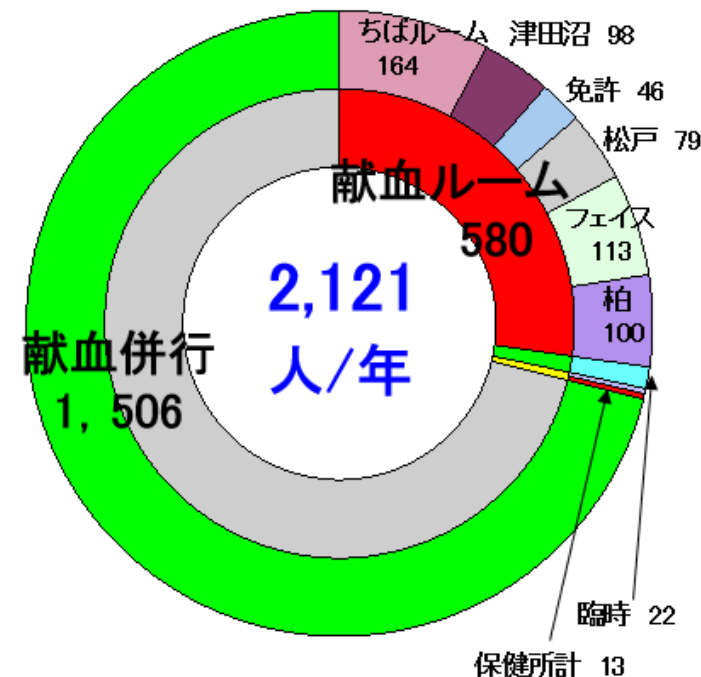
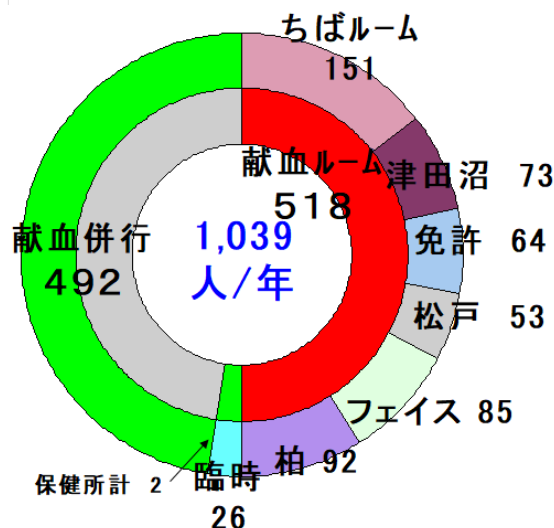
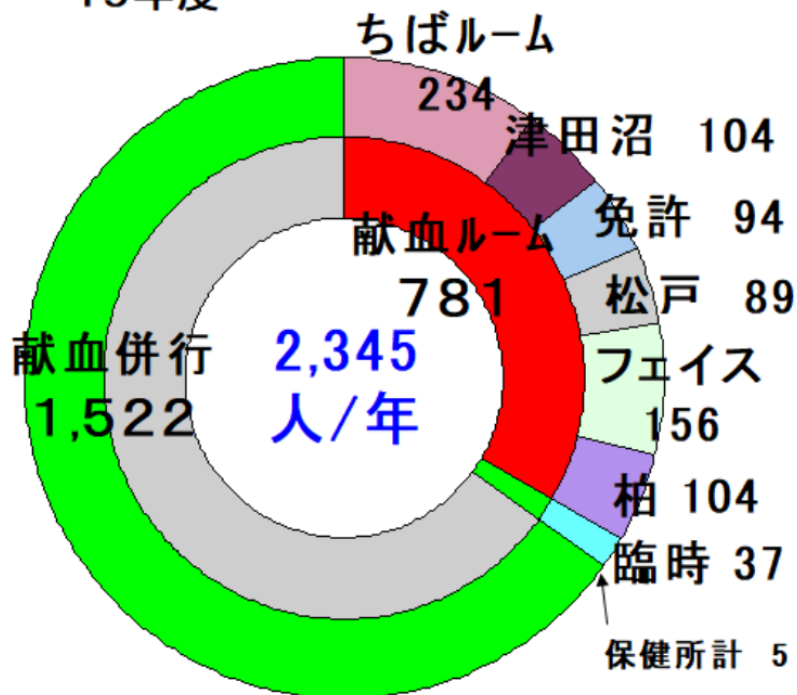
19、20、23年度の千葉県のドナー登録実績

コロナ前

20年度コロナで激減

23年度

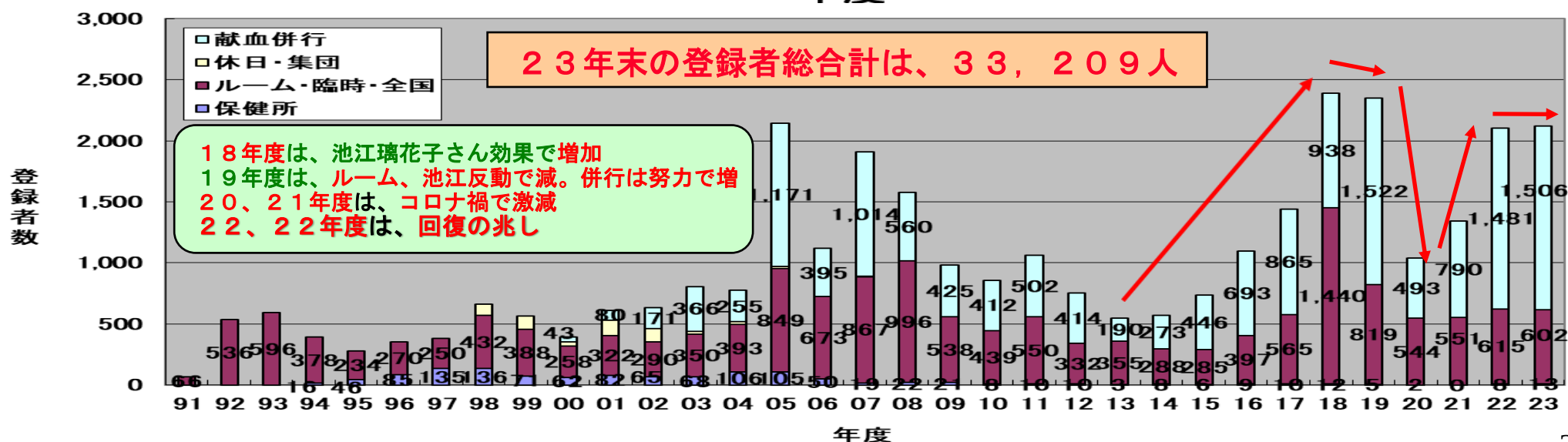
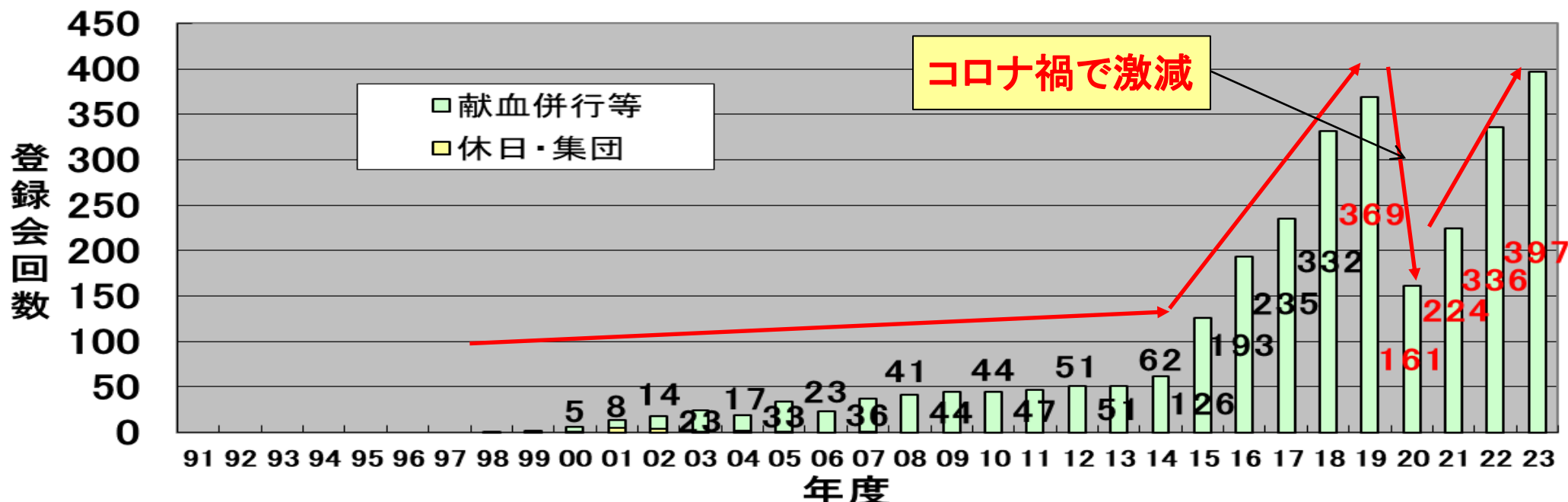
19年度



	献血ルーム	献血併行	他	計	コメント
19年度	781人	1,522人(369回)	42人	2,345人	献血併行頑張り コロナで激減 戻らず 戻りつつある 19年度を超えた
20年度	518人	492人(161回)	28人	1,039人	
21年度	527人	790人(224回)	24人	1,341人	
22年度	569人	1,481人(336回)	56人	2,104人	
23年度	580人	1,506人(397回)	35人	2,121人	



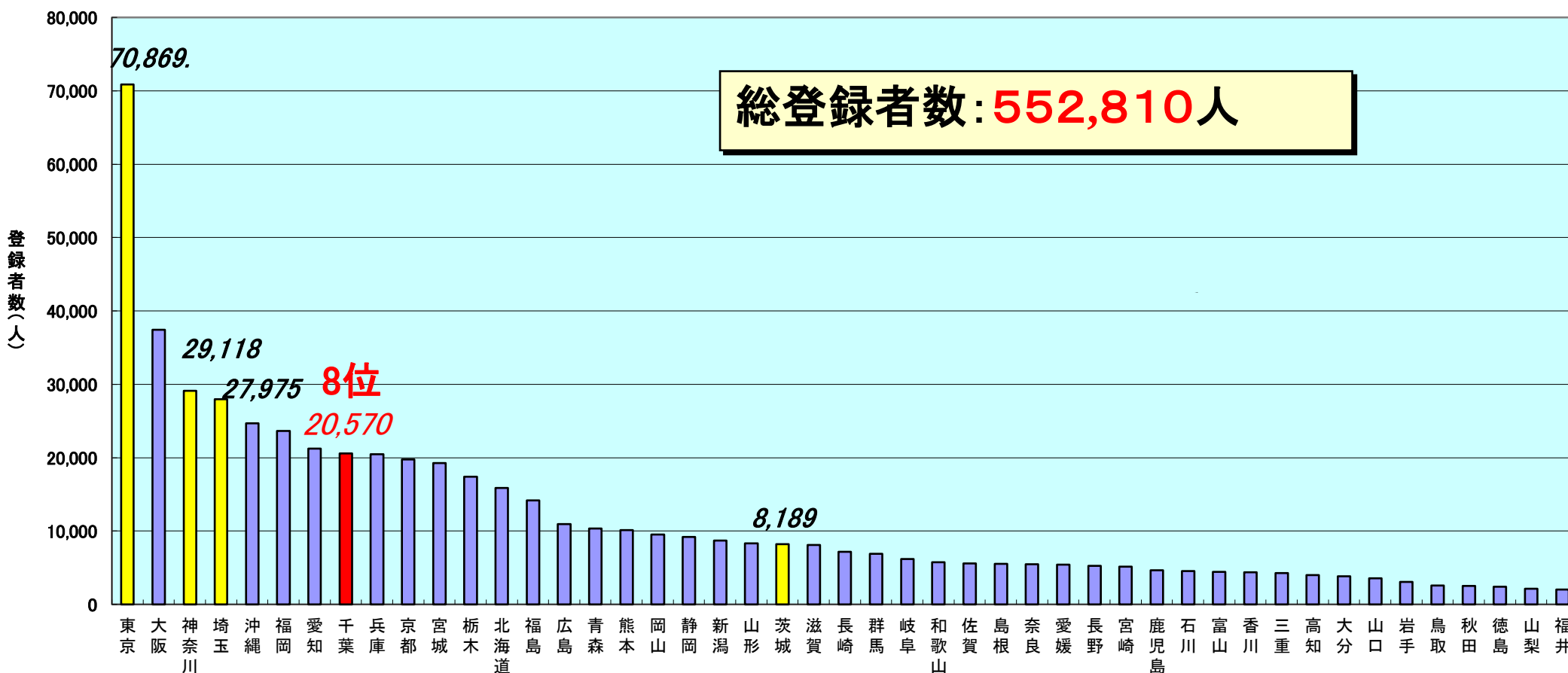
千葉県の年度別登録者数と登録会回数





都道府県別 ドナー登録者数

2023年12月末現在

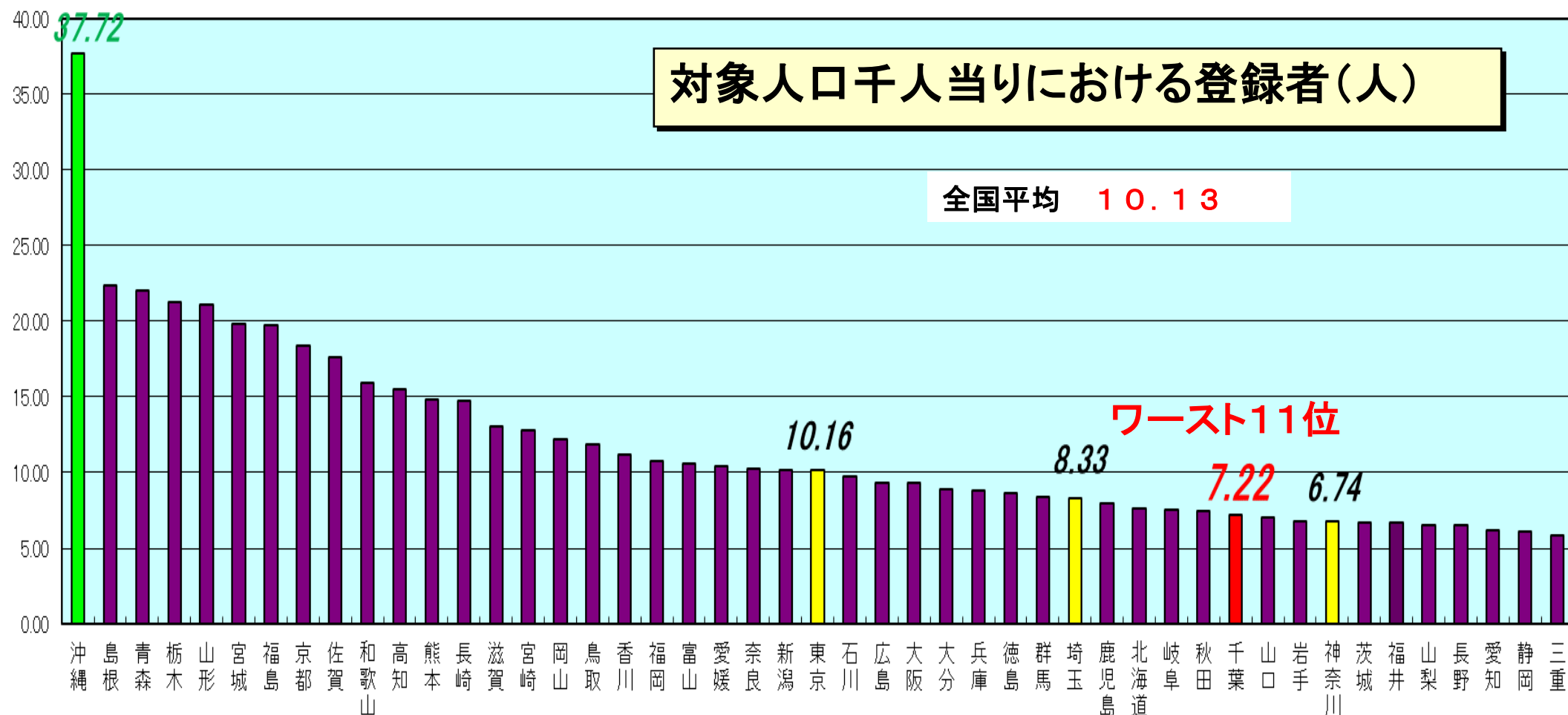


- ◆千葉は19年13位、20年・21年12位、22年9位。23年8位。
- ◆東京1位変わらず。神奈川3位、埼玉4位、茨城22位。



都道府県別 ドナー登録者割合比較

2023年12月末現在

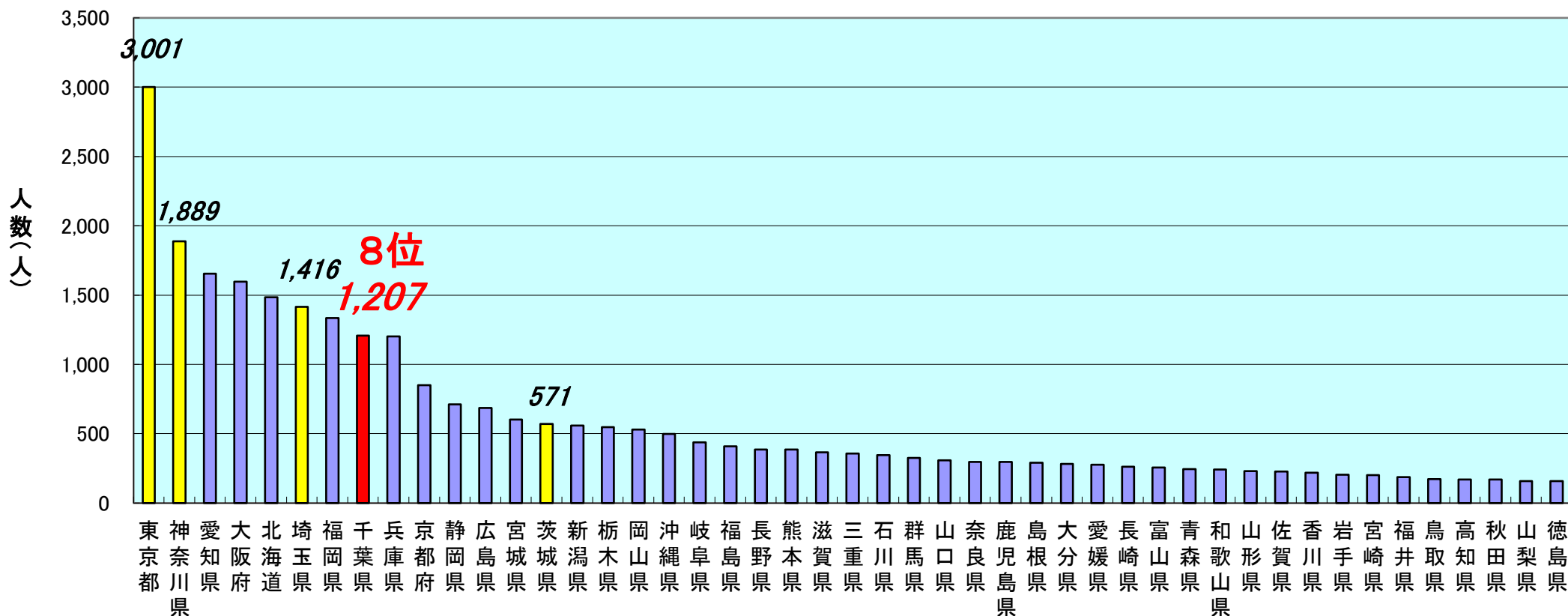


- ◆千葉県は、19～20年ワースト7位。22年は同12位。23年は同11位に改善。
- ◆沖縄は、他を凌駕する1位(37.72)継続。



都道府県別 骨髄液提供者数

2023年12月末現在



◆千葉県の骨髄液提供者数は、13～22年は、
9位。23年は8位（12, 11年8位、10年7位）



2023年度(令和5年) 第33回総会

(23.5.7 船橋勤労市民センターで開催)

会場の船橋市勤労市民センター



梅田会長挨拶



22年度業務報告



小泉議長、北村美事務局長の議事



牛島監事による監査報告



活発な質問と意見交換





骨髓バンクチャリティ コンサートと落語会

(23. 11. 18 成田市文化芸術センターで開催)

精進料理(光輪閣)



金原亭駒介さん、桂右女助師匠の落語



ドナー、移植患者さんによる体験談



三戸 素子さん、小澤 洋介さん、
高田 匡隆さんの演奏



終了後の記念撮影



成田山公園の紅葉



- ◆精進料理42名、入場者129名、協賛店31社と盛況だった。
- ◆20、21年度はコロナ禍で開催できなかったが22年度復活。



アクアラインマラソンで説明会、普及啓発 (22.11.6)

木更津地区



- ◆ 20年大会はコロナで中止。
- ◆ 22年は4年振りの参加。
- ◆ 24年は開催予定(11.10)

袖ヶ浦地区





いのちの輝き展

23.7.24～8.8 茂原市立図書館



23.8.21～9.4 長南町中央公民館



23.9.12～9.26 八街市立図書館



23.10.2～10.16 イオンモール船橋



23.12.4～12.19 大多喜町役場



開催日	展示会場
23.7.24～8.8	茂原市立図書館
23.8.21～9.4	長南町中央公民館
23.9.12～9.26	八街市立図書館
23.10.2～10.16	イオンモール船橋
23.10.17～10.30	市原市役所
23.11.1～11.28	睦沢町「道の駅むつざわ」
23.12.4～12.19	大多喜町役場
24.1.10～1.26	千葉市役所新庁舎
24.2.12～3.17	イオンモール銚子
24.3.25～4.23	山武市役所

◆23年度は10箇所で開催した。 22年度は12箇所で開催。



ケア帽子の寄贈

手作りのケア帽子



- ◆19年度は、9病院に500個寄贈
- ◆20年度は、8病院に510個寄贈
- ◆21年度は、10病院に580個寄贈
- ◆22年度は、12病院に646個寄贈
- ◆23年度は、12病院に620個寄贈

君津中央病院に贈呈(22.12.14)



ケア帽子と一緒に寄贈した手作りグッズ





患者サロン 飾り寿司講習会 (16. 6. 26 全国協議会 事務所)

講師： 千葉骨髓バンク推進連絡会の西島一恵さん



出来上がった飾り寿司





千葉県功労者表彰 (23. 11. 3)



◆千葉の会の溝口理文(よしぶみ)副会長が文化の日に千葉県議会棟で千葉県功労者表彰を受けました。(前列右から5番目)



ライオンズクラブ国際協会333-C地区研修会での講演 (23. 9. 15)

会場のホテルスプリング幕張



講演(梅田)の様子



参加者
100名



関東・甲信越地区ブロックセミナー(24.3.24)

会場の埼玉会館



全国協議会 梅田理事長の挨拶



埼玉の会 笠原会長の挨拶



セミナーの様子



千葉の会の参加者



大西先生の講演

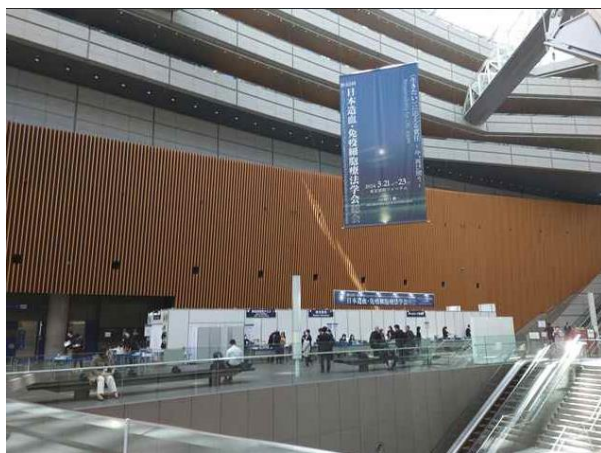


- ◆23年度は、**24年3月24日（日）**、埼玉会館で4年ぶりに現地開催。
- ◆千葉(4)、東京(5)、神奈川(2)、埼玉(8、**主催**)、群馬(1)、長野(1)、講師(1)の**計22名**が参加。**活発な意見交換**を行った。



日本造血・免疫細胞療法学会に参加（東京国際フォーラム）

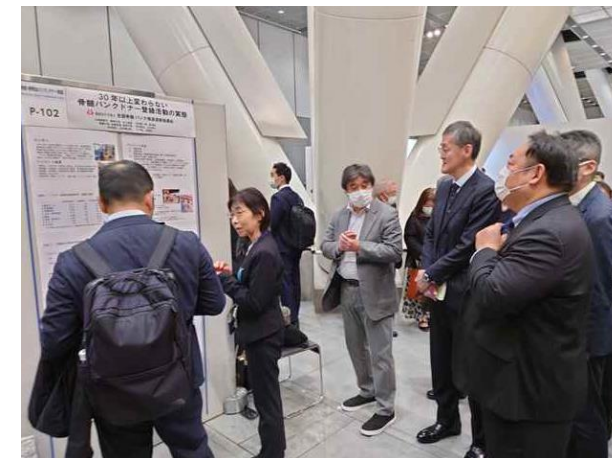
会場の東京国際フォーラム



全国協議会 田中副会長が受賞



パネル発表(浅野副理事長)



全国協議会と財団の展示ブース



山崎理事の口演



樋口大悟さん、堀ともこさんの対談



◆24年3月22日～23日、東京国際フォーラムで開催の学会で
パネル発表（浅野副理事長）、口演2題（山崎理事）。



東京マラソン2024でチャリティランナーの応援、接待

EXPO会場（東京ビッグサイト）



トップランナー



国際ビルの接待会場（個別ラウンジ）



国際ビルの接待会場（個別ラウンジ）



千羽鶴



沿道での応援



◆24年2月29日（木）～3月2日（土）の**東京マラソンEXPO**（東京ビッグサイト）、3日（日）**大会当日（国際ビル）**でのランナーの応援、接待。



献血併行登録会（登録手続きの流れ）

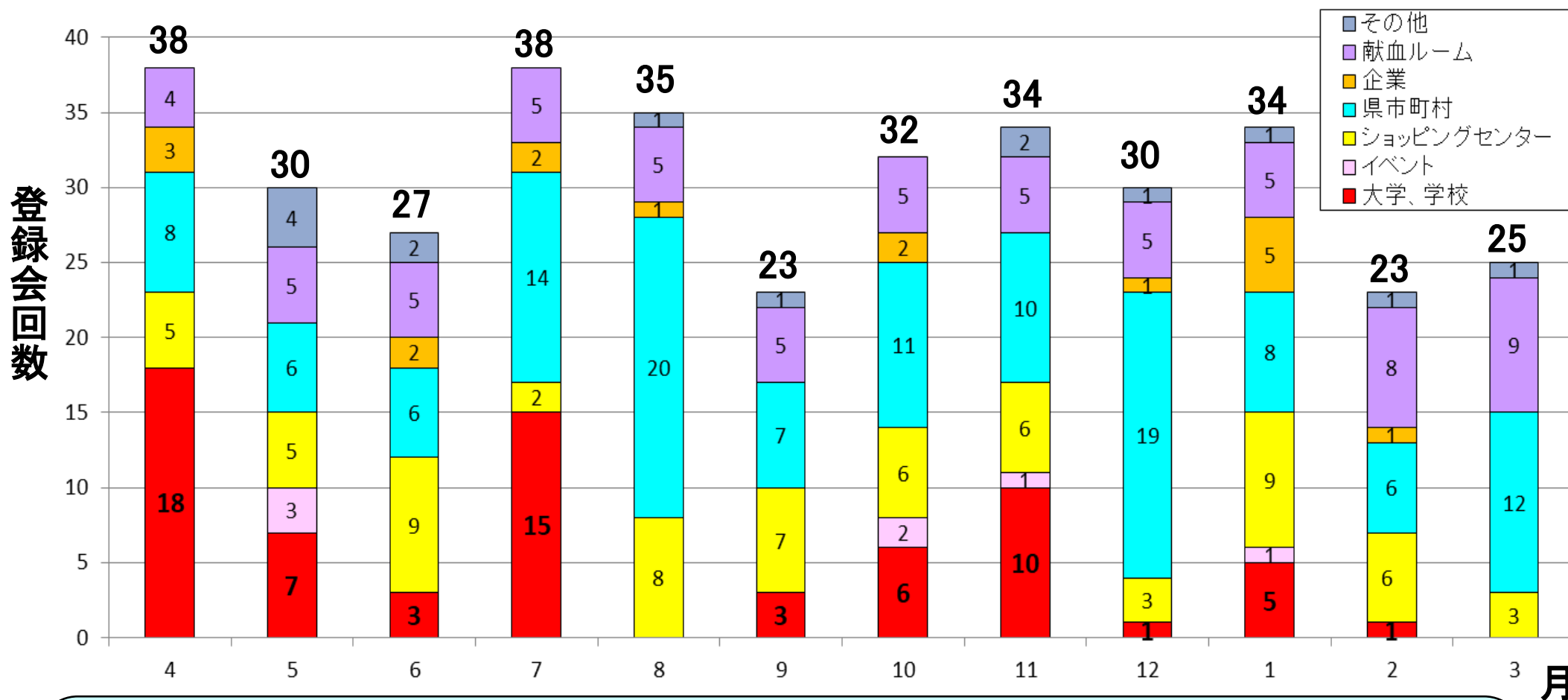
全工程で**15分程度**かかります

- ◆**受付**: 献血受付で献血手続き書類を記入後、登録受付をします。
- ◆**説明**: 説明員（**弊社ボランティア**）が、「登録手続き」記入要領を説明し、記入頂きます。
- ◆**問診、採血**: 千葉県赤十字血液センターの医師が問診をし、看護師が採血します。（献血用とは別に2ml採血して登録は終わりです）
- ◆**献血**: 血液センターの献血会場、献血車で献血下さい。
- ◆**ドナーカード**: 説明終了時にお渡しします。
（万が一問診で不適と判定された場合は返却下さい）





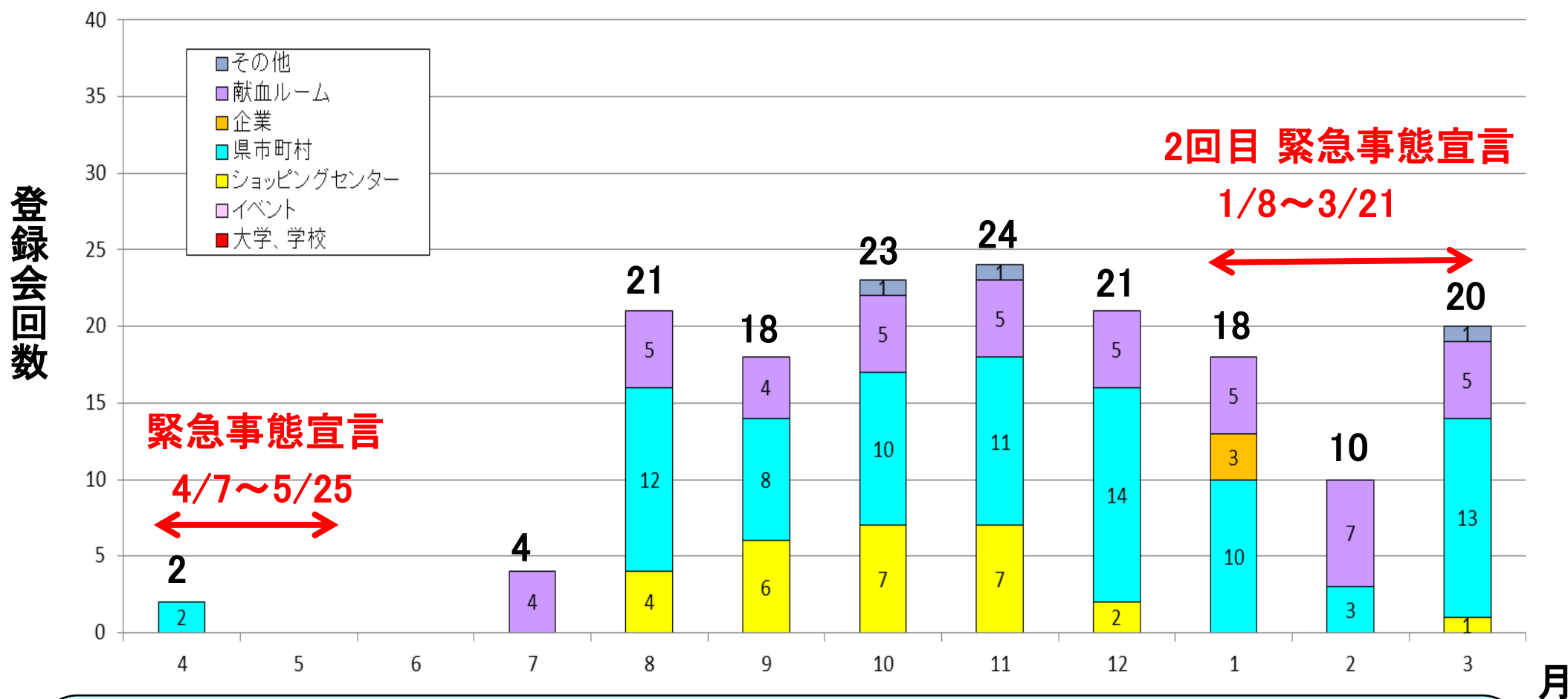
19年度の千葉の種類別献血併行登録会実績



- ◆19年度の登録会回数は、過去最高の**369回**になった。
- ◆**大学での開催**に力を入れている。**69回**開催した。
- ◆**県市町村127回**、**献血ルーム66回**、**ショッピングセンター69回**。
- ◆2, 3月は**コロナの影響**で登録会がかなり**キャンセル**された。



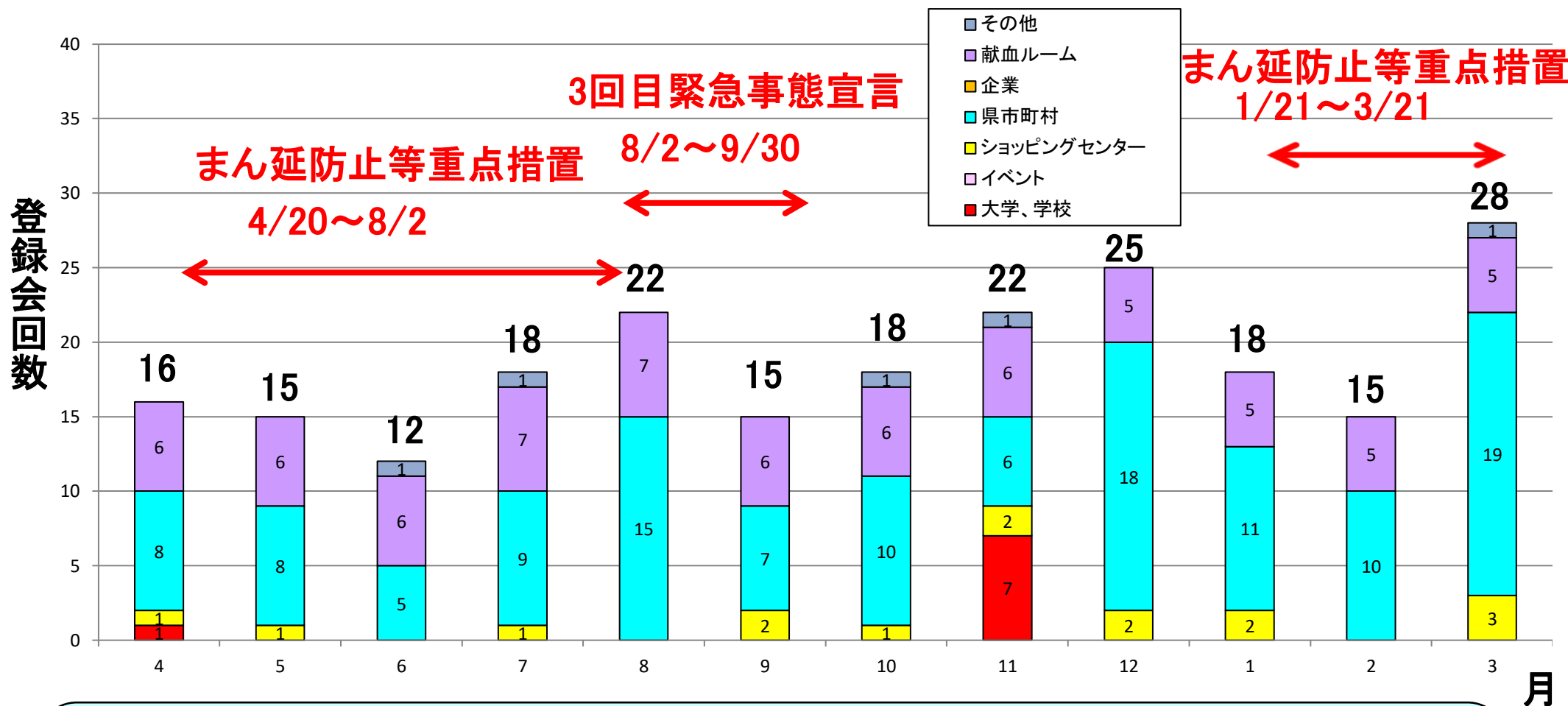
20年度の千葉の種類別献血併行登録会実績



- ◆20年度の登録会は、2回のコロナの「緊急事態宣言」発令の中、3密対策の徹底を図り161回実施。
- ◆大学、イベントでの開催は、ゼロになった。
- ◆県市町村83回、献血ルーム45回、ショッピングセンター27回。



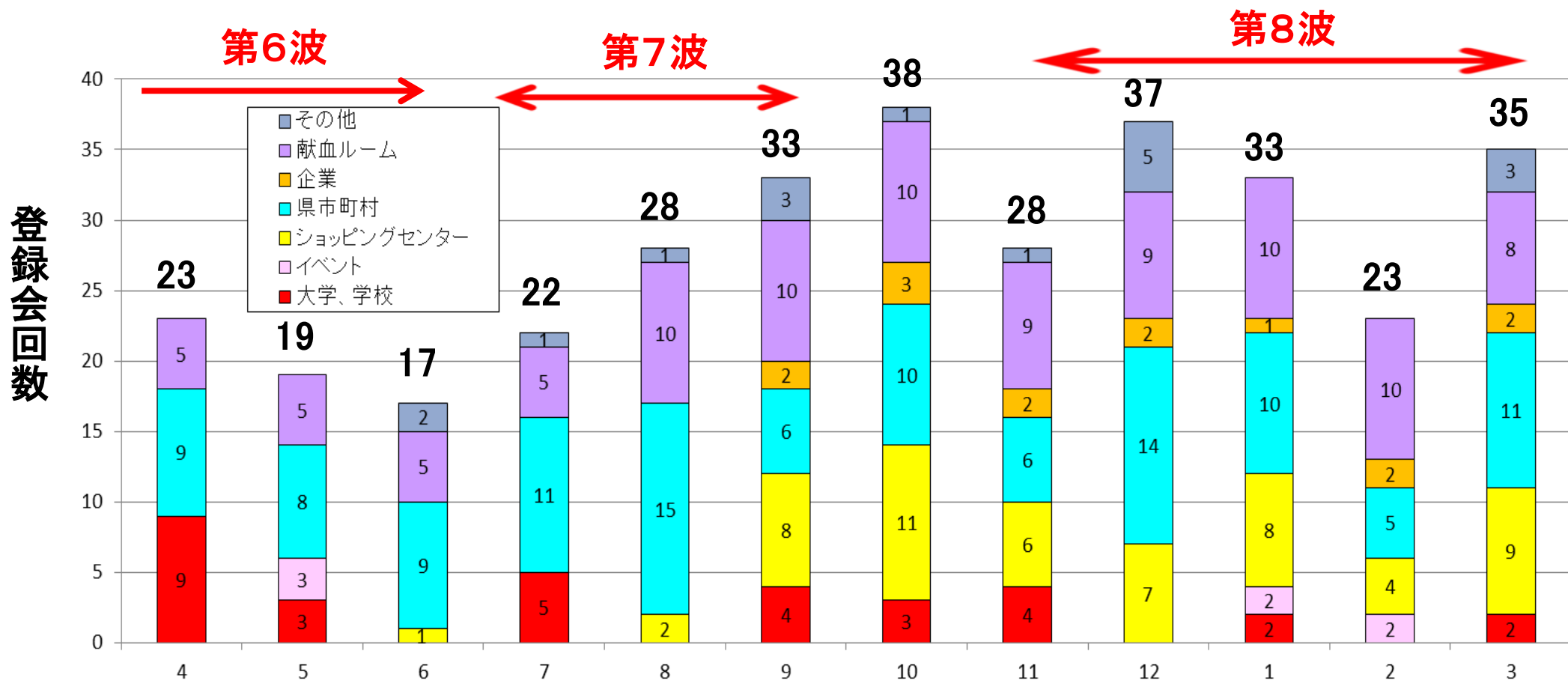
21年度の千葉の種類別献血併行登録会実績



- ◆21年度の登録会は、8月2日～9月30日まで「緊急事態宣言」があったが、感染防止対策で224回実施。
- ◆イベント、企業での開催ゼロ。大学8回復活の兆しなし。
- ◆県市町村126回、献血ルーム70回、ショッピングセンター15回、他5回。



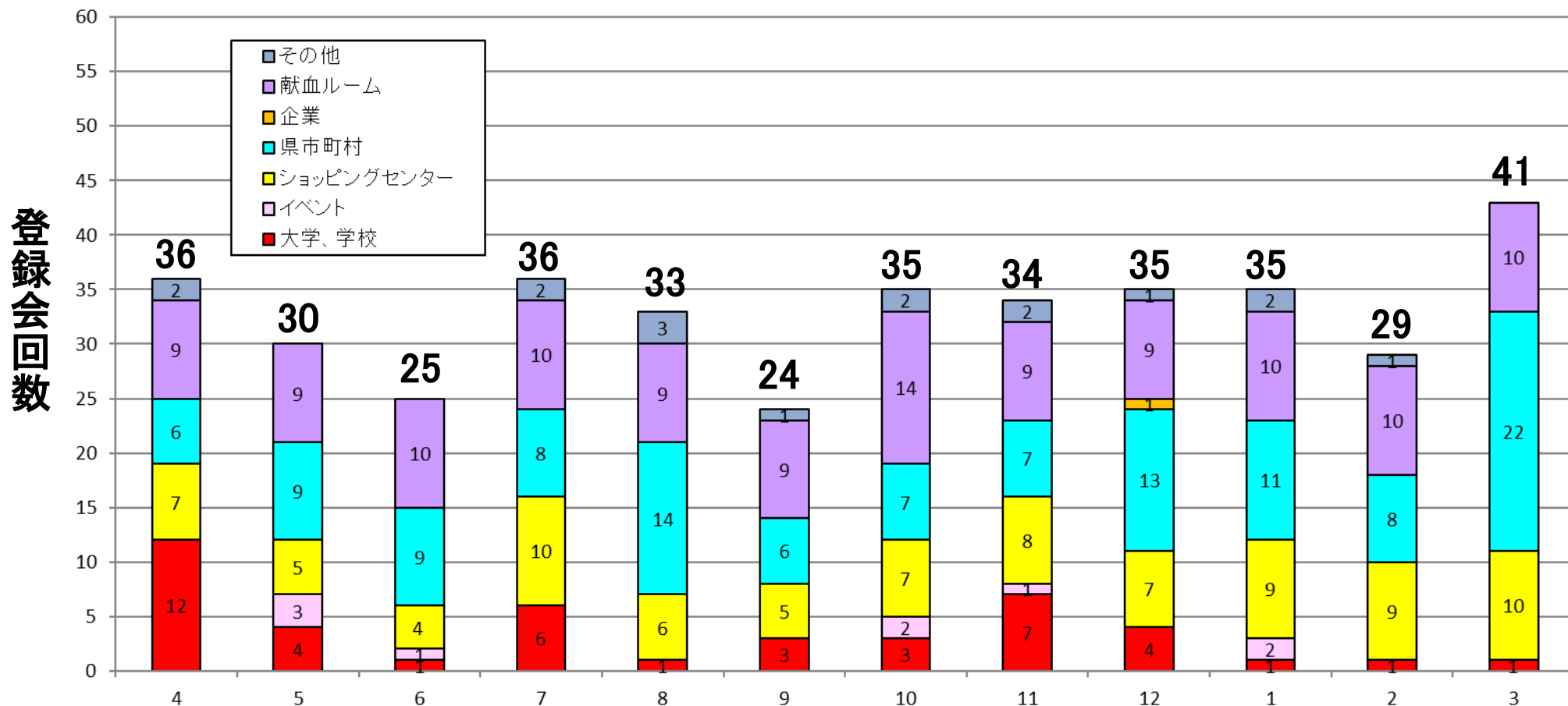
22年度の千葉の種類別献血併行登録会実績



- ◆22年度の登録会は、**336回**実施。コロナ前までもう一步。
- ◆コロナは第6、7、8波があったが**大学、ショッピングセンター、企業の開催**もどる。県市町村114回、献血ルーム96回、ショッピングセンター56回、大学32回、他17回、企業14回。



23年度の千葉の種類別献血併行登録会実績



- ◆23年度の登録会は、397回実施。(東京雪祭2含む)
- ◆大学、ショッピングセンターの開催もどる。
- 県市町村120回、献血ルーム118回、ショッピングセンター87回、大学44回、他28回。



千葉県主催の「ドナー登録説明員養成講座」(23.12.6千葉県教育会館)

会場の千葉県教育会館



荒木薬務課長のご挨拶



日本骨髓バンク 渡邊さんの講義



梅田の講義



ロールプレイング



質疑応答



◆ 2 回目の養成講座に8名が受講し、5名が資格申込。



千葉の会主催のドナー説明員研修会の様子

船橋市民活動サポートセンター
講師：北村美、柴谷、梅田(23.5.14)



木更津市役所(イオンタウン朝日)
講師：西島夫妻(23.9.19)



- ◆23年度、千葉の会研修会を2回開催。3名が受講。
- ◆22年度は、9名の方にドナー説明員研修会を実施。



SNOWBANK PAY IT FORWARD 2023（東京雪祭）で登録会と普及啓発 (23.11.11~12 代々木公園)

登録会の様子



献血ちゃんと



登録呼び掛け



ゲレンデに多くの観客が



ステージの活動



全国協議会の普及啓発



会場の様子



- ◆登録者 121名、献血者 402名。
- ◆千葉、東京、神奈川、埼玉のボランティア延べ35名が協働。



イベントと登録会

＜イベント会場で＞

千葉骨髓バンク推進連絡会

東京新都心ライオンズクラブ主催の献血会場で献血併行登録会 (22. 4. 10 新宿中央公園 水の広場)

開始前のミーティング



献血受付に多くの方が



ライオンズさんのテント



登録者が次から次へ



高層ビル群と献血会場全景



参加者全員で記念撮影



- ◆登録 **37名**、献血者 **93名**。総責任者 **梅田**
- ◆**千葉、東京、神奈川**のボランティア **14名**が協働。



献血ルームでの献血併行登録会

モノレールちば駅献血ルーム(23.6.26、11.27) 松戸献血ルーム(23.10.24) 津田沼献血ルーム(23.5.24)



柏献血ルーム(23.7.7、8.10)



船橋献血ルームフェイス(23.6.27、9.6)



◆23年度は、118回開催。 22年度は、96回開催。



県市町村役場、福祉センターでの献血併行登録会

千葉県庁(24.1.5)



千葉市役所
(24.1.15)



成田市役所
(23.4.21)



木更津市役所
(23.12.15)



浦安市役所
(23.12.18)



富津市役所
(23.8.14)



成田市保健福祉館
(24.1.17)



睦沢町農村環境改善
センター(23.6.30)



君津市保健福祉センター
(24.1.10)



◆23年度は、120回開催。 22年度は、114回開催。



ショッピングセンターでの献血併行登録会

イオンタウン木更津朝日
(23.7.17)



ユニモ市原
(23.4.29)



イオンモール木更津(23.6.3、9.17)



カインズ市原(23.10.8)



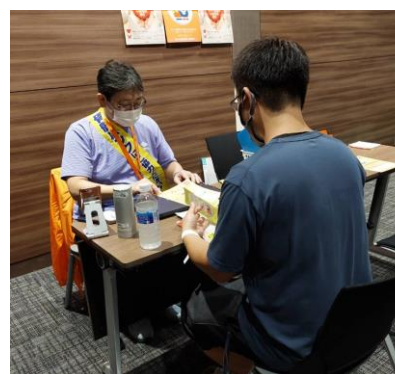
ユニモちはら台(23.10.14)



市原アリオ
(23.4.1)



イオンモール幕張新都心
(23.9.18)



イオンタウンユーカリが丘
(23.7.23)



◆23年度は、87回開催。

◆22年度は、56回開催。不特定多数の来客に期待。



大学、学校での献血併行登録会

千葉県消防学校
(23.8.31)



中央学院大学(23.10.17)



清和大学
(23.12.8)



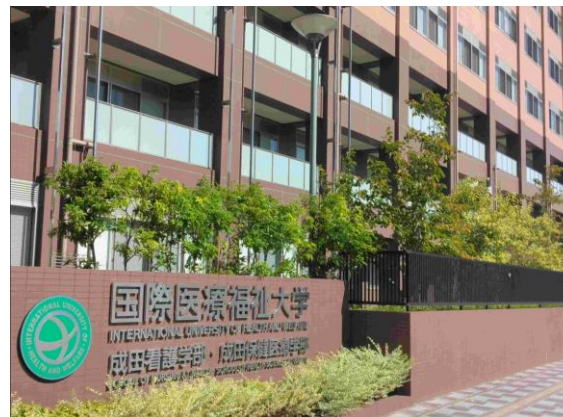
帝京平成大学(23.4.11、9.13)



千葉大学(23.4.10、12.1)



国際医療福祉大学(23.10.7)



麗澤大学(23.4.27)



◆23年度は、44回開催。

◆22年度は、32回開催。若い人の登録を推進。



その他会場での献血併行登録会

成田赤十字病院(23.12.27)



陸上自衛隊木更津駐屯地(23.4.25、24.1.24)



千葉大学医学部附属病院(23.11.29)



海上自衛隊航空補給処
(23.9.28)



陸上自衛隊航空補給処(23.9.28)

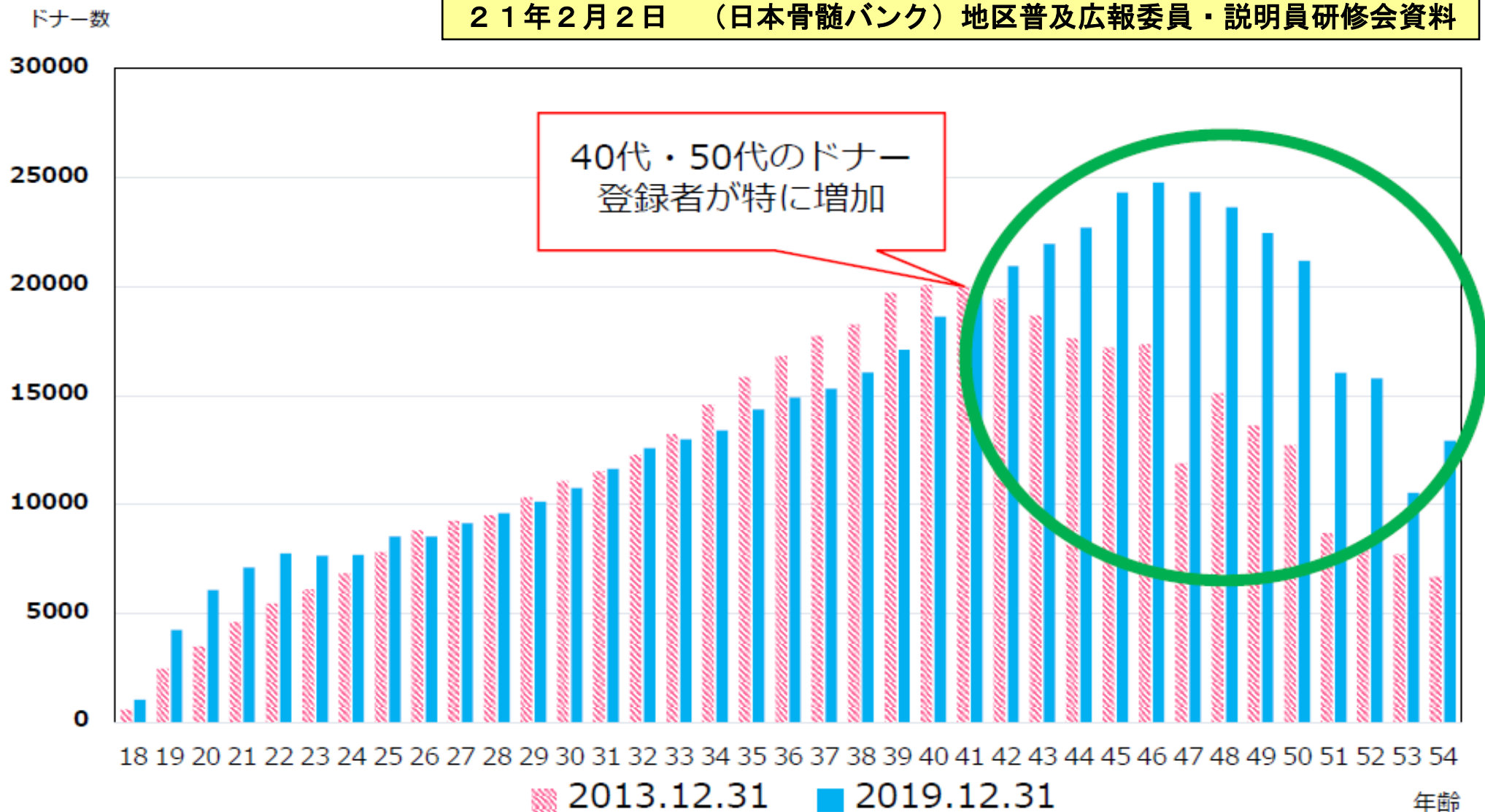


◆23年度は、26回開催。 22年度は、17回開催。



ドナー登録者の年齢比較

21年2月2日 (日本骨髄バンク) 地区普及広報委員・説明員研修会資料



若年層への取り組み強化が必要

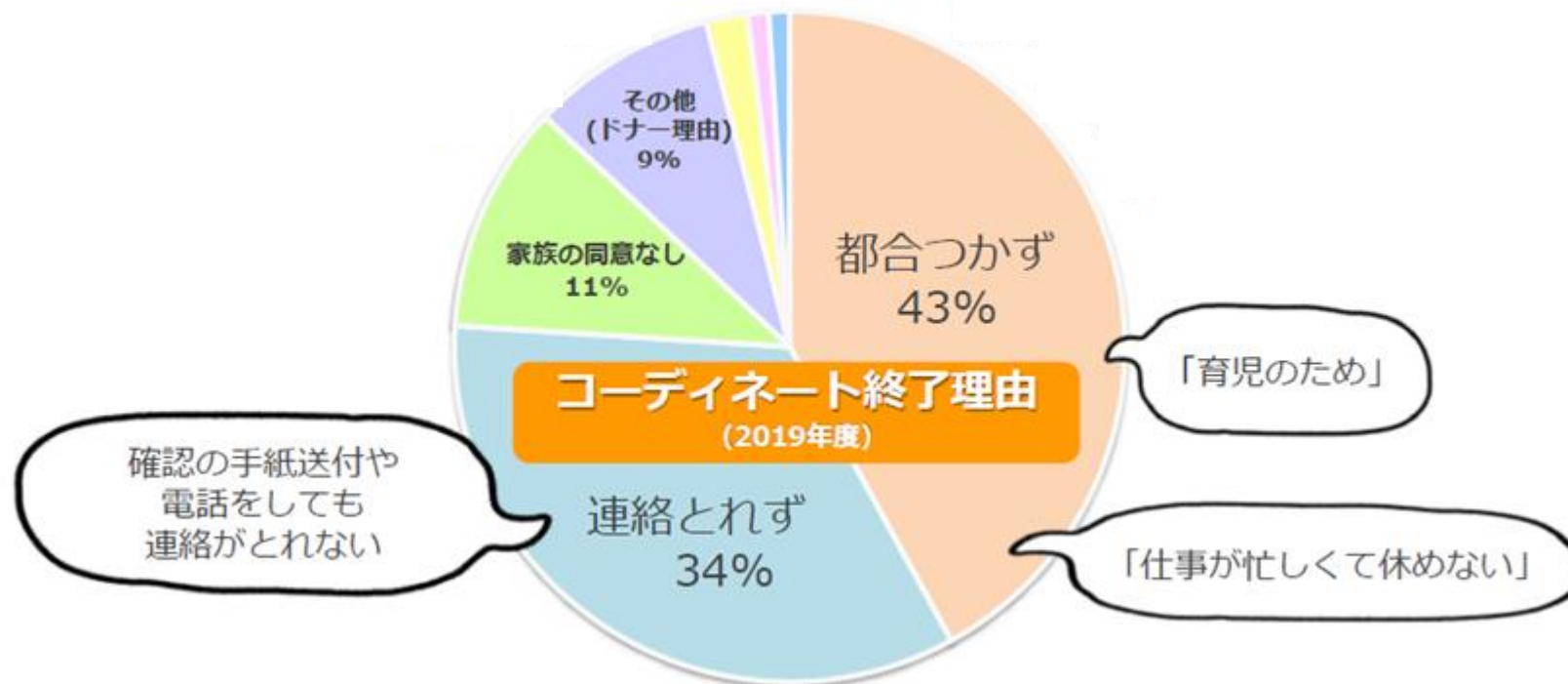


骨髓バンクの今後の課題

課題

骨髓移植を希望した患者さんの **60%弱** しか移植を受けられない。

ドナーの原因





課題への方策

方策(ドナーが原因の対応)

◆都合つかず ⇒ 休めない

ドナー助成制度導入、ドナー休暇制度導入

◆連絡取れず ⇒ ドナーリテンション **提供意思**の維持

「献血者」住所登録データの確認許諾

◆家族の同意なし ⇒ **普及啓発**、広報等の強化

◆その他

*ドナー登録者減(**ドナ一定年増**) ⇒ **登録会増**

***健康理由** ⇒ **若年層ドナー増**

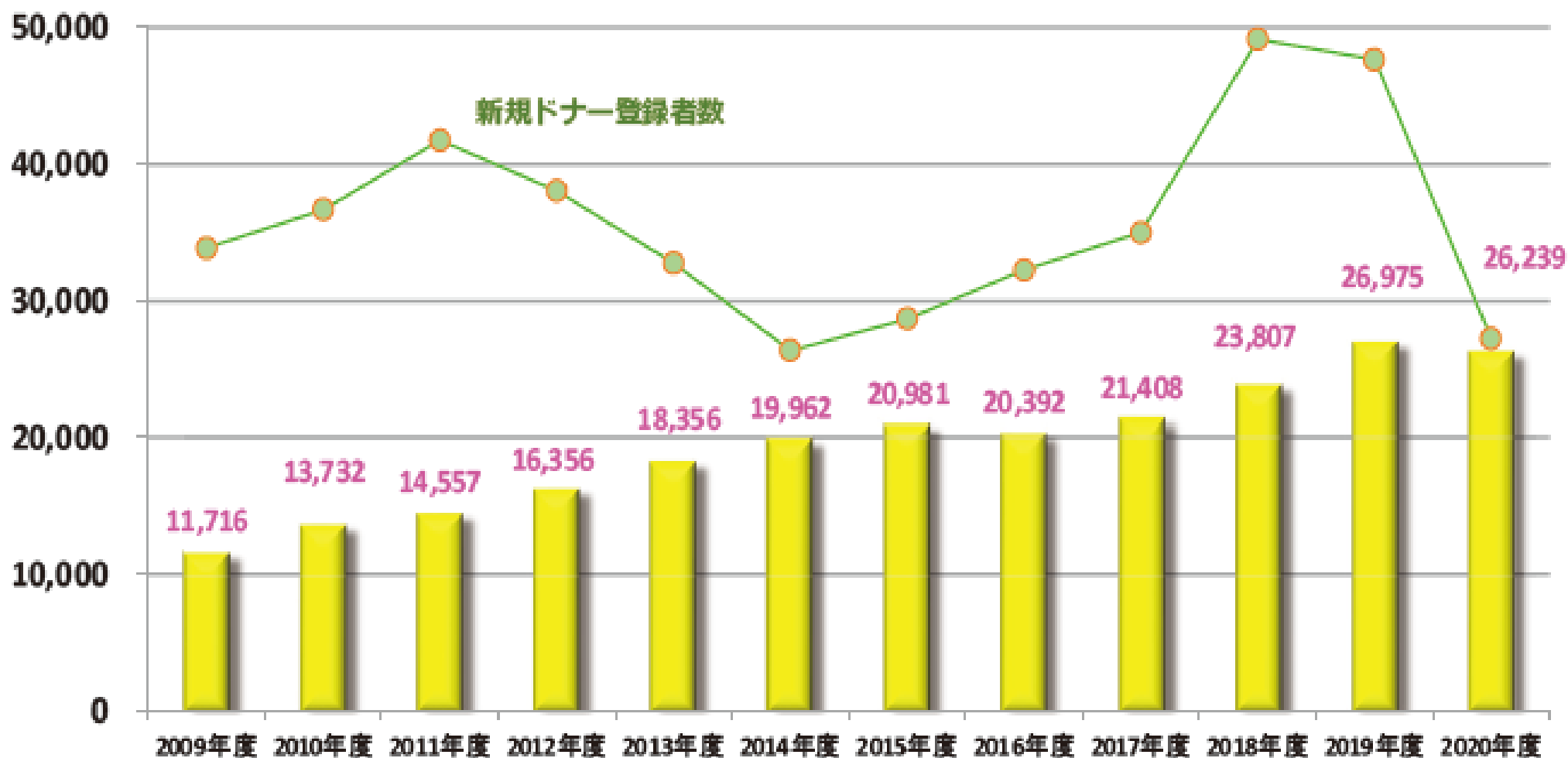
大学での登録会増



ドナー登録取り消し者数の推移

22年2月22日 (日本骨髓バンク) 地区普及広報委員・説明員研修会資料

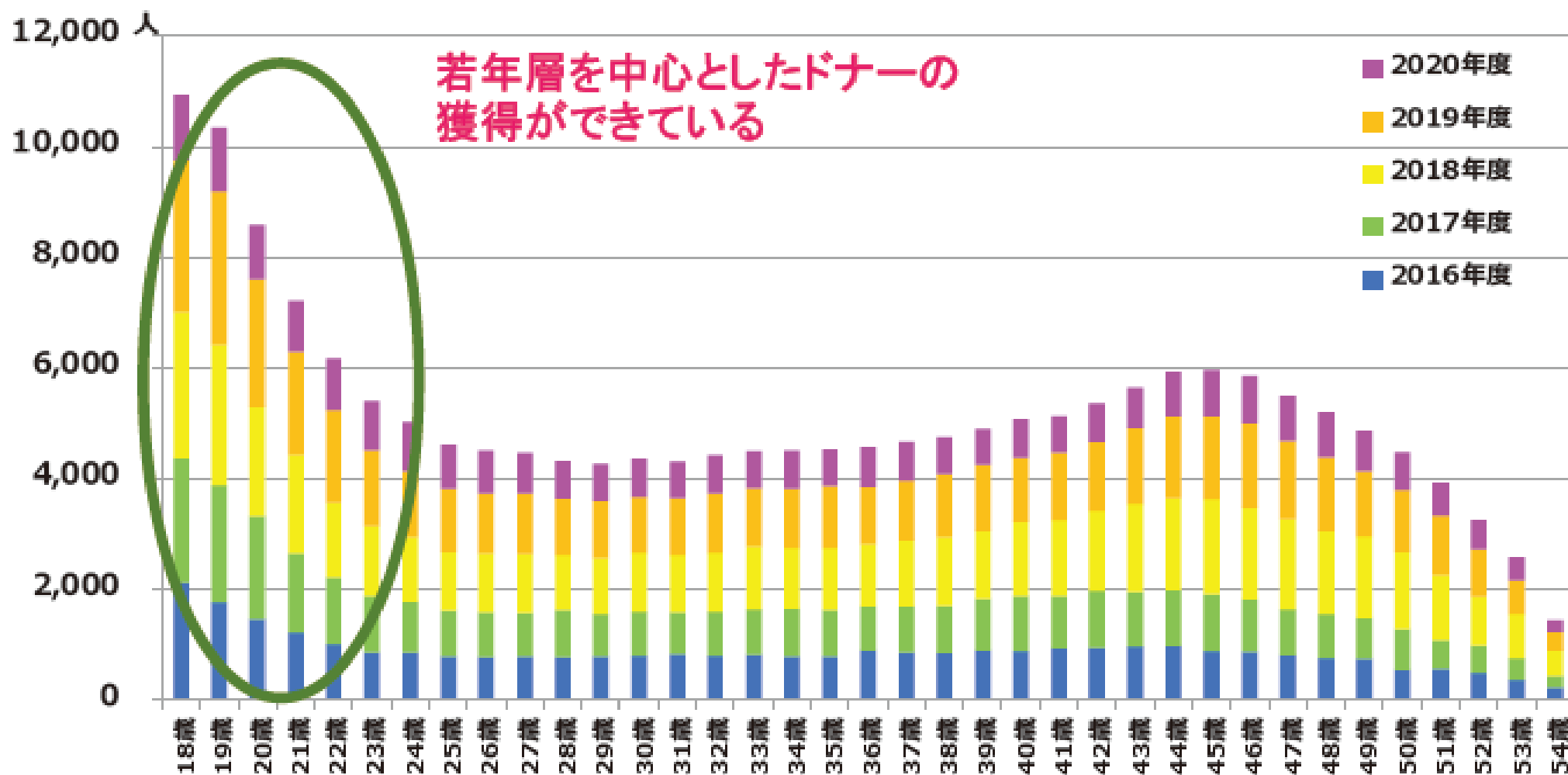
近年は、毎年2万人以上が取消。2020年度は、純増979人





年齢別新規ドナー登録者数(全国計)

22年2月22日 (日本骨髓バンク) 地区普及広報委員・説明員研修会資料





千葉県のドナー助成制度の現状

◆ドナー助成制度とは

平成23年度に新潟県加茂市で初めて導入されて以来、全国の自治体が導入する骨髓提供者を支援するための**骨髓移植ドナー支援事業助成金制度**。

◆千葉県の助成補助制度の概要

- * 同制度(事業)は、**17年8月4日導入**され、**17年4月**に遡って**適用**された。
骨髓・末梢血幹細胞移植の促進のため、**①ドナー及び②そのドナーの従事する事業所**に対して市町村が助成金を交付した際に、その金額の**1/2を補助**する制度。

◆千葉県内のドナー助成制度導入の市町村(23年5月5日で)

*** 54市町村、全てが導入。導入率100%。**

- * 千葉市: ドナーに10万円/回、ドナー休暇を取得した場合会社に**1万円/日(最大7日)**
- * 船橋市: ドナーに**2万円/日(7日上限)**、ドナーの勤務する会社に**1万円/日(7日上限)**

◆千葉県内の最近12年間の骨髓提供者数 (概ね人口約12万人当たり1人の提供者)

22年度:57人、21年度:63人、20年度:61人、19年度:46人、18年度:46人、17年度:52人、
16年度:47人、15年度:43人、14年度:55人、13年度:55人、12年度:46人、11年度:44人



千葉県でのドナー休暇制度導入について

◆ドナー休暇制度

骨髓・末梢血幹細胞提供をする場合、提供までに**8回前後**、**平日**の日中に医療機関へ出向きます。その日数を、ドナー自身の有給休暇を使うのではなく、勤務先がその休日を**特別休暇**として認めるのが「ドナー休暇制度」です。

◆ドナー休暇制度導入活動

- * 18年5月に**千葉県知事名**で県内の**経済関係5団体**に「ドナー休暇制度導入の整備・広報」について依頼書を出状いただきました。
- * 18年5月に**薬務課長名**で**県内各商工会議所会頭**に「ドナー休暇制度導入の整備」について依頼書を出状いただきました。
- * 千葉の会では、上記を受けて「**千葉県経営者協会**」を訪問し、導入依頼をしました。その結果同会の**会報442号**に休暇制度の記事が掲載されました。他に「**千葉県中小企業家同友会**」、「**千葉県中小企業団体中央会**」、「**千葉県商工会議所連合会**」を訪ね、導入依頼をしました。
- * 22年6月に再度千葉県知事名で**県内経済関係5団体及び商工会議所会頭**に「ドナー休暇制度導入の整備」について依頼書を出状いただきました。
- * 千葉の会では引き続き**県議会議員**、**市議会議員**と面談し、経済関係団体への働き掛けをお願いしています。

◆全国で一般企業の導入は、**828社**。
(24年4月30日現在) でほとんど進んでいない。



骨髄バンクドナー

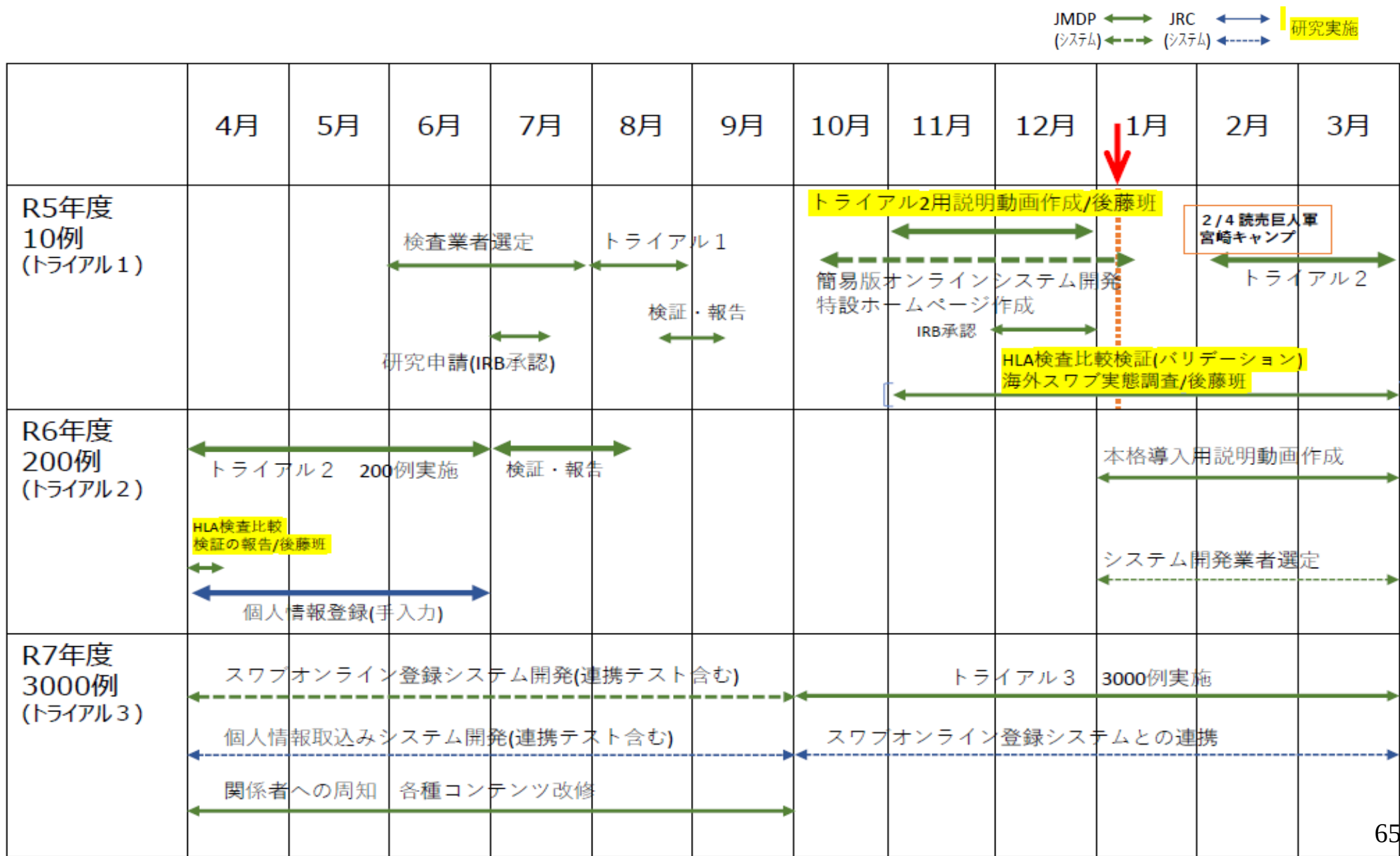
スワブ検査&オンライン登録導入に向けたロードマップ

補正予算が決定したことから、前倒しで実施予定

R5 (2023) 年度	R6 (2024) 年度	R7 (2025) 年度	R8年度
トライアル1 10検体	トライアル2 200検体	トライアル3 3000検体 専用システム開発	スワブ検査&オンライン登録本格導入
検証内容 ・JMDP職員対象 ・検査キット取り寄せから採取、HLA検査結果取得までを確認 10月 トライアル1完了	検証内容 ・<u>イベント会場や学域等を対象</u>として規模を拡大 ・ドナーリクルートからオンライン登録、HLAデータのシステム反映まで<u>一連の流れと作業量を確認</u> 	検証内容 ・<u>献血会場以外でドナー登録</u>を希望する人を対象 ・<u>専用システム開発後</u>、オンライン登録を開始 ・本格導入前に現在の新規登録者の1/10規模で<u>運営体制等を確認</u>	



スワブ検査&オンライン登録導入に向けたロードマップ





千葉県造血幹細胞移植推進協議会(24. 2. 7 ZOOM)への要望

23年度(4~12月)、コロナの影響はなくなりました。24年度は、県主催の説明員養成講座受講者8名の内、5名が説明員資格を取り**献血併行登録会**に参加しつつあります。これらの方が定着されますよう、今後とも**ご支援**をお願い致します。

1. **ドナー休暇制度**導入については、**県内経済関係団体**へ都度働きかけをお願いしたい。
2. 3回目となる千葉県主催の「**ドナー登録説明員養成講座**」を開催いただきたい。
3. 上記により、定着する説明員を育成し、登録会への**説明員派遣の複数化**を図りたい。
4. また千葉の会の**説明員は高齢化**が進んでいるので、若返りを支援いただきたい。
5. 薬務課所管に「**千葉県献血推進協議会**」があるが、委員に「**ドナー登録推進**」の**協力要請**をしていただきたい。
6. **献血併行登録会の改善**について引き続きフォローいただきたい。
 - (1)登録会場の**効率運用と改善**
 - ①**コストパフォーマンスの高い会場**での、効率の良い開催
 - ②**若い献血者**が多い献血会場での登録会開催増
 - ③**新たな会場、大学、ショッピングセンター、企業、イベント会場を開拓**いただきたい
 - (2)献血時の**登録会開催の声掛け**の更なる徹底
7. 今年度も「**骨髓バンクチャリティ コンサートと落語会**」を、11月16日(土)に成田市文化芸術センターで行う。**広報**で支援願いたい。
8. 昨年度から骨髓バンクドナーの**スワブ検査 & オンライン登録導入**に向けた**トライアル**が始まった。**情報を把握**し、今後の対応を**主導**いただきたい。